

塩穴団地 2 棟解体ほか工事

設計図書

設計図面リスト									
意匠図					構造			電気・機械設備	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	表紙・図面リスト	A - 41	共用部詳細図 2	AE- 01	設備工事共通 特記仕様書	S - 01	杭・基礎伏図	E - 01	電気設備工事 特記仕様書 (1)
A - 01	特記仕様書 1	A - 42	共用部詳細図 3	AE- 02	撤去 電気設備 配置図	S - 02	梁伏図 (RC) 1	E - 02	電気設備工事 特記仕様書 (2)
A - 02	特記仕様書 2	A - 43	共用部詳細図 (仕上)	AE- 03	電力設備 1・2 階平面図 (撤去)	S - 03	梁伏図 (RC) 2	E - 03	設備工事共通 特記仕様書
A - 03	特記仕様書 3	A - 44	住宅雑詳細図 1	AE- 04	電力設備 基準階平面図 (撤去)	S - 04	軸組図 (RC) 1	E - 04	付近見取図
A - 04	特記仕様書 4	A - 45	住宅雑詳細図 2	AE- 05	電力設備 塔屋階平面図 (撤去)	S - 05	軸組図 (RC) 2	E - 05	撤去 配置図
A - 05	付近見取図	A - 46	住宅雑詳細図 3	AE- 06	住戸平面詳細図 (撤去)	S - 06	軸組図 (RC) 3	E - 06	改修 配置図
A - 06	解体前配置図	A - 47	住宅雑詳細図 4			S - 07	梁伏図 (鉄骨) 1	E - 07	電気室 平面詳細図・盤単線接続図
A - 07	解体後配置図	A - 48	天井伏図 1	AM- 01	設備工事共通 特記仕様書	S - 08	梁伏図 (鉄骨) 2	E - 08	仮設配置図
A - 08	仮設計画図 (工事ステップ 1)	A - 49	天井伏図 2	AM- 02	給排水設備 系統図	S - 09	軸組図 (鉄骨) 1		
A - 09	仮設計画図 (工事ステップ 2)	A - 50	建具配置図 1	AM- 03	屋外給排水撤去図	S - 10	軸組図 (鉄骨) 2	M - 01	機械設備工事 特記仕様書 (1)
A - 10	仮設計画図 (工事ステップ 3)	A - 51	建具配置図 2	AM- 04	各階平面詳細図	S - 11	軸組図 (鉄骨) 3	M - 02	機械設備工事 特記仕様書 (2)
A - 11	仮設計画図 (工事ステップ 4)	A - 52	建具配置図 3	AM- 05	ポンプ室・回転ドラム室 平面図	S - 12	柱真図 1	M - 03	設備工事共通 特記仕様書
A - 12	仮設計画図 (工事ステップ 5)	A - 53	建具表 1	AM- 06	受水槽詳細図 (参考)	S - 13	柱真図 2	M - 04	付近見取図
A - 13	仮設計画図 (工事ステップ 6)	A - 54	建具表 2	AM- 07	PH 屋上平面図・高架水槽詳細図	S - 14	柱断面表	M - 05	給排水設備 配置図
A - 14	仮設計画図 (工事ステップ 7)	A - 55	建具表 3	AM- 08	回転ドラム 詳細図 (参考)	S - 15	梁断面表 1		
A - 15	仮設計画図 (工事ステップ 8)	A - 56	回転ドラム詳細図 1	AM- 09	屋外ガス平面図	S - 16	梁断面表 2		
A - 16	建物面積求積図 1	A - 57	回転ドラム詳細図 2	AM- 10	住戸 平面詳細図 (空調調和設備)	S - 17	地中梁断面表		
A - 17	建物面積求積図 2	A - 58	回転ドラム詳細図 3			S - 18	基礎断面詳細図		
A - 18	建物面積求積図 3	A - 59	エレベーター詳細図 1			S - 19	架構配筋図 1		
A - 19	仕上表	A - 60	エレベーター詳細図 2			S - 20	架構配筋図 2		
A - 20	1・2 階平面図	A - 61	外構撤去図 1			S - 21	架構配筋図 3		
A - 21	3～12 階平面図	A - 62	外構撤去図 2			S - 22	架構配筋図 4		
A - 22	塔屋階平面図	A - 63	外構撤去図 3			S - 23	柱鉄骨詳細図 1		
A - 23	立面図 1	A - 64	植栽撤去図			S - 24	柱鉄骨詳細図 2		
A - 24	立面図 2	A - 65	植栽撤去リスト			S - 25	柱鉄骨詳細図 3		
A - 25	断面図	A - 66	屋外排水撤去図			S - 26	柱鉄骨詳細図 4		
A - 26	矩計図	A - 67	外構撤去部分詳細図 1			S - 27	梁鉄骨詳細図 1		
A - 27	エレベーターホール廻り平面詳細図 1	A - 68	外構撤去部分詳細図 2			S - 28	梁鉄骨詳細図 2		
A - 28	エレベーターホール廻り平面詳細図 2	A - 69	外構撤去部分詳細図 3			S - 29	梁鉄骨詳細図 3		
A - 29	エレベーターホール廻り平面詳細図 3	A - 70	外構撤去部分詳細図 4			S - 30	梁鉄骨詳細図 4		
A - 30	エレベーターホール廻り展開図	A - 71	外構新設部分詳細図 1			S - 31	床版配筋図		
A - 31	屋内階段断面詳細図	A - 72	歩道切下げ詳細図			S - 32	屋内階段配筋図		
A - 32	エレベーターホール断面詳細図					S - 33	屋外階段配筋図		
A - 33	屋外階段平面詳細図・立面図					S - 34	雑配筋図		
A - 34	屋外階段断面詳細図								
A - 35	住宅平面詳細図								
A - 36	住宅展開図								
A - 37	住宅木真図 1								
A - 38	住宅木真図 2								
A - 39	住宅床・天井・天井地下図								
A - 40	共用部詳細図 1								

堺市建築都市局建築部

[illegible]

⑤石綿含有建材の除去等

⑫アンカー打設

G. 集積、運搬、処分等

1. 除去した石綿含有仕上塗材は、廃棄物処理法に従い、石綿含有廃棄物として適切に保管・運搬・処分を行う。

2. 確実な梱包として十分な強度を有する耐水性のプラスチック袋で二重梱包する。

3. 除去した石綿含有仕上塗材を現場内で保管する場合はシート等で覆い、保管場所には、石綿含有廃棄物の保管場所であることの表示を行うこと。

4. 石綿含有廃棄物の運搬に当たっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆うこと。

H. 施工記録・報告

1. 工事の内容等を記録するとともに、工事完了の状況を報告する。

外壁石綿含有部（みなし含む）への「アンカー打設」の作業手順は、原則以下とする。

1 事前準備

- ・施工要領書を監督員に提出し確認を受ける。
- ・石綿作業主任者を選任し、作業者に特別教育を実施する。
- ・看板（立入禁止）を設置し、保護マスク（RS-3・RL-3）を着用する。

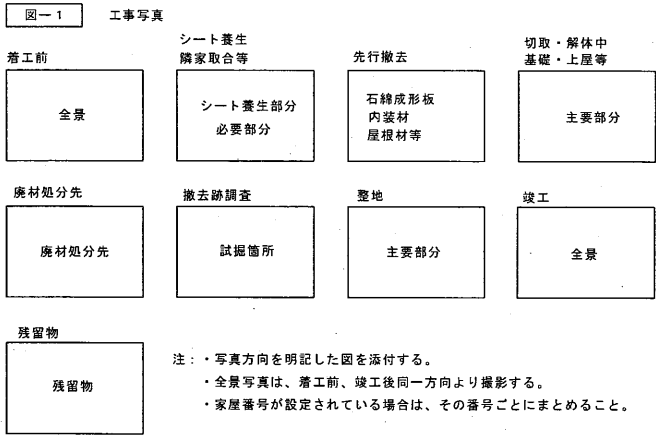
2 ドリル穿孔作業

- ・粉じん吸込装置付ドリル（HEPAフィルター付）を使用する。
- ・ドリル穿孔部の仕上塗材に水を噴霧（湿潤）し、穿孔する。
- ・飛散防止剤を穿孔部（切断面及び周囲）に吹付け、アンカーを打設する。

3 石綿処理

- ・粉じん、HEPAフィルター、保護マスク等の袋詰めを行う。
- ・石綿含有廃棄物として処理する。

1章 <別表>



<書類保管箱>

工事完成時に完成図、施工図、保全に関する資料及び工事関係書類を保管箱に入れ、提出すること。

サイズ A4ファイル収納用

材質 段ボール

・完成図作成要領

1. 完成図は、発注（契約）工事ごとに工事完成時における現状を示したものであること。
2. 完成図原図
- 完成図原図は、業者（現場代理人）及び監理事務所（統括責任者）の押印の後、提出。
- 原設計図を修正する場合はCADデータを修正し、作成すること。
- 原図、完成図電子データ（設計図）とも提出のこと。
- 内容（電子データで提出する図面）
- ①完成図原図
- 原則として、設計図を修正すること。（設備工事では、施工図の修正でもよい。）
- 屋外配管（設備工事）については、埋設深さ・建物等目印よりの寸法を記入すること。
3. 製本図面
- 市確認後に完成図原図を青焼き背張製本したものを、
- 部数は、2部（※A2・原寸図）（新築住宅建設工事は3部）とする。
- 発注（契約）工事ごとに製本する。
- 仕様
- ①製本の色（発注工事ごと）
- 建築（緑・DB1503）[A・S・V]、電気（赤・DB2012）、
- 機械（青・DB2007）[J・K・M]、ガス（黄・DB2014）とする。
- [] 内英字は工事種別です。
- ②表紙の文字
- 工事名称・完成年月日・監理事務所名（自主監理は不要）・請負業者名の順に印字する。
- 可能な場合は、背の部分に工事名称のみ印字する。
4. 機器完成図（設備工事）
- A4版チューブファイル（表紙の記入内容は製本図面に同じ）にて2部提出のこと。
- 内容
- ①提出した機材使用願による主要機器。
- ②各種試験成績表
- ③各種検査合格書
- ④保証書
- ⑤保守に関する指導案内書（取扱説明書）
5. 完成図電子データ
- ①提出用メディア
- CD（720MB）1枚に発注（契約）ごとに全図面を1枚に入れて提出する。
- ラベルには、竣工年月（西暦）・工事名称を記入すること。

①<建設リサイクル法「分別解体の届出」>

1. 適用
- 1) 本仕様書は、公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領（営繕）により、堺市建築部が発注する工事に適用する。
2. 建設副産物の処理
- 1) 受注者は、工事の施工により発生する建設発生土の処理及びコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設汚泥等の建設廃棄物の処理にあたって、適切な処理が計画的に行われるよう発生土処理計画書及び廃棄物処理計画書並びに発生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式（建設リサイクルガイドライン）により作成し、施行計画書に含め監督員に提出、承認を得なければならない。
- また、建設発生土の搬出にあたっては、建設廃棄物が混入しないよう分別に努めなければならない。

2) 本工事における特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う。

	特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
※1	コンクリートガラ	泉州リサイクル(協)	〒594-0011 和泉市上代町1280-1
	アスファルトガラ	(協)大阪南部リサイクルセンター	〒584-0008 富田林市貴志2594-1
	木材(角材)	堺田中凌漢工業㈱バーク	〒555-0043 大阪市西淀川区大野3-7-144
	木材(幹・枝葉)	木材開発側岸和田工場	〒596-0011 岸和田市木材町11-13、18
	木材(根)	堺前田造園	〒576-0066 交野市青山2-2642-1
※2	建設発生土	(有) 竹田商店	〒590-0977 堺市堺区大浜西町1-8

- ※1 積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。
- なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
- 建設発生土の搬出先については、上記の再資源化施設に搬出すること。
- ※2 なお、受け入れ条件等により提示する施設と異なる再資源化施設となる場合は監督員と協議するものとする。

3. 特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置

- 1) 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下、「建設リサイクル法」という。）施行令で定める工事の種類、規模の基準に基づき特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。
- なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の条件を設定しているが、請負代金額のうち解体工事に要する費用等に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。
- ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

(建築物に係る解体工事の場合)

①分別解体等の方法

工程	工程	作業内容	分別解体等の方法
①建築設備・内装材等	建築設備・内装材の取り外し	■ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用	併用の場合の理由()
②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用	併用の場合の理由()
③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用	
④基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用	
⑤その他(床フラ)	その他の取り壊し	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用	

「この特記を使用する対象工事」

建築物の解体 床面積の合計80㎡以上

(建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替）の場合)

①分別解体等の方法

工程	工程	作業内容	分別解体等の方法
①造成等	造成等の工事	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用
②基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用
③上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用
④屋根	屋根の工事	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用
⑤建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用
⑥その他()	その他の工事	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用

(注1) 適用となる事項の □ にチェックする。

「この特記を使用する対象工事」

- ・建築物の新築・増築 床面積の合計500㎡以上
- ・建築物の修繕・模様替（リフォーム等） 請負代金の額1億円以上

- ②再資源化等をする施設の名称及び所在地
- 2-2) による。
- (注1) 新築工事では、発生量等が特定できないため、この限りでない。

(建築物以外のもにに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）の場合)

①分別解体等の方法

工程	工程	作業内容	分別解体等の方法
①仮設	仮設工事	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用
②土工	土工	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用
③基礎	基礎工事	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用
④本体構造	本体構造の工事	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用
⑤本体付属品	本体付属品の工事	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用
⑥その他()	その他の工事	□ 手作業 □ 有 □ 無	□ 手作業・機械作業の併用

「この特記を使用する対象工事」

- ・その他の工作物に関する工事（土木工事等） 請負代金の額500万円以上

- 2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を「再資源化等報告書」に記載し、監督員に報告するものとする。
- ・工事名
 - ・工事場所
 - ・再資源化等が完了した年月日
 - ・特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
 - ・特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用
 - ・再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書（建設リサイクルガイドライン様式）

4. 再生資材

本工事の施工については、次表の再生資材を見込んでいる。品質等を確認し、監督員の承認を得た上で使用に努めなければならない。

再生資材名	使用箇所
再生クラッシュラン（RC-40）	外構部、駐車場、道路路盤材等

5. 過積載について

- 1 受注者は建設副産物を搬出するときは、ダンプトラックの規格（最大積載重量）を事前に把握し、過積載しないよう常に注意すること。
- 2 受注者は、建設副産物搬出後速やかに、マニフェストや計量証明書等で過積載のないことを確認するとともに、監督職員に提出を求められた場合は、その都度、速やかに提出すること。
- 3 受注者は、建設資材を注文するときは、その都度、納入業者に過積載しないよう指導すること。
- 4 受注者は、建設資材納入時には、試験成績書等により資材の単位重量等を事前に把握し、搬入トラックの規格（最大積載重量）から過積載になっていないことを確認するとともに、監督職員に提出を求められた場合は、その都度、速やかに納品伝票を提出すること。
- 5 受注者は、建設副産物及び建設資材の運搬にあたって、次の道路交通法等関係法令を厳守すること。
- イ 道路交通法第57条
 - ロ 道路法第47条
 - ハ 貨物自動車運送事業法（平成元年法律第83号）第17条
 - ニ ダンプ規制法（土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法） 第3条、第4条（許可条件等の表示）
 - ホ ダンプ規制法第6条（自重計の設置）

2012.8.	改訂	2021.5.	改訂
2014.4.	改訂	2023.4.	改訂
2014.12.	改訂		
2015.9.	改訂		
2016.4.	改訂		
2016.7.	改訂		
2017.4.	改訂		
2018.4.	改訂		
2020.4.	改訂		
2021.4.	改訂		

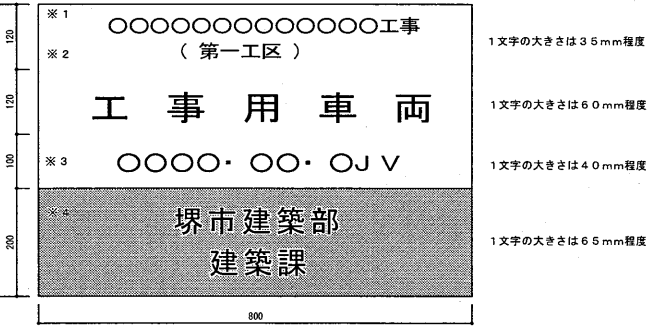
○道路交通の安全対策

10t以上のダンプトラック（土砂・ガラ等の排出車、アスファルト合材・砕石等の搬入車すべて対象）により搬入を行う場合は監督員に報告し、運搬経路について協議を行うこと。

○工事車両幕

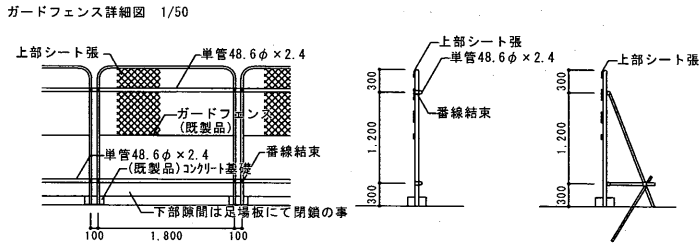
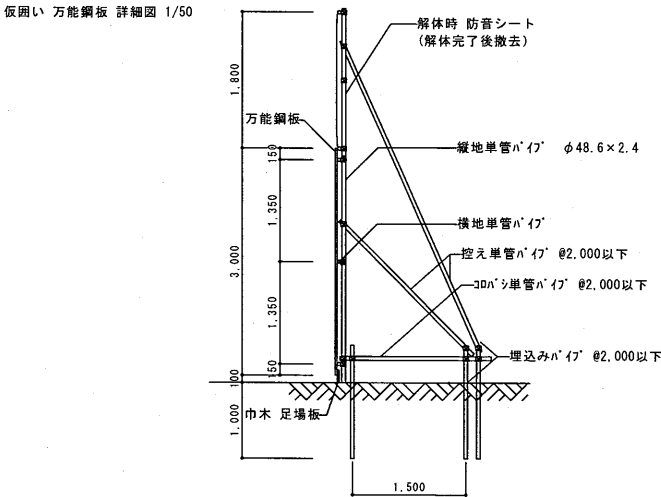
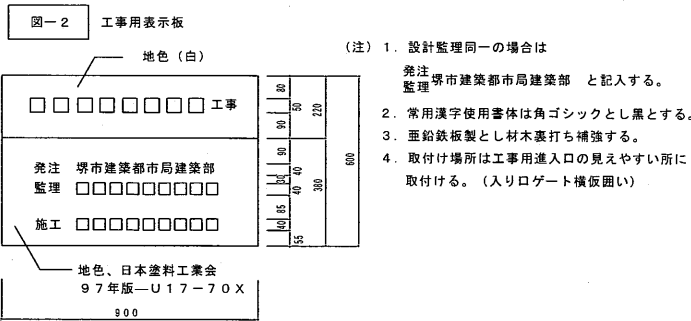
10t以上のダンプトラック（土砂・ガラ等の排出車、アスファルト合材・砕石等の搬入車すべて対象）に下記の通り工事車両幕を作成し取り付けること。 なお、工事車両幕の仕様における詳細については、別途、監督員の指示を受けること。

- 工事車両幕の仕様
- ・寸法： 縦540mm×横800mm程度
 - ・材質： ターポリン
 - ・表示内容： 工事名称、受注者名、発注部署名
 - ・装着枚数： 1枚
 - ・装着場所： ダンプトラックの前面
 - ・取付方法： 工事車両幕の四隅とダンプトラックの4カ所を紐で結ぶ
 - ・その他： 工事車両幕の四隅にハトメ（紐穴）を取付ける



- ※1 工事車両幕に記載する工事名、「工事車両」、受注者名、発注者名の字体は、MSPゴシックとする。
- ※2 工事名が一段で入りきらない場合は、二段で記載する。
- ※3 受注者名は、一段に記載する。 株式会社は、開と記載する。 建設工事共同企業体はJVと記載する。
- ※4 発注者名は、局名を記載しない。
地色は「青色」、文字は白抜きとする。

2章 <別表>

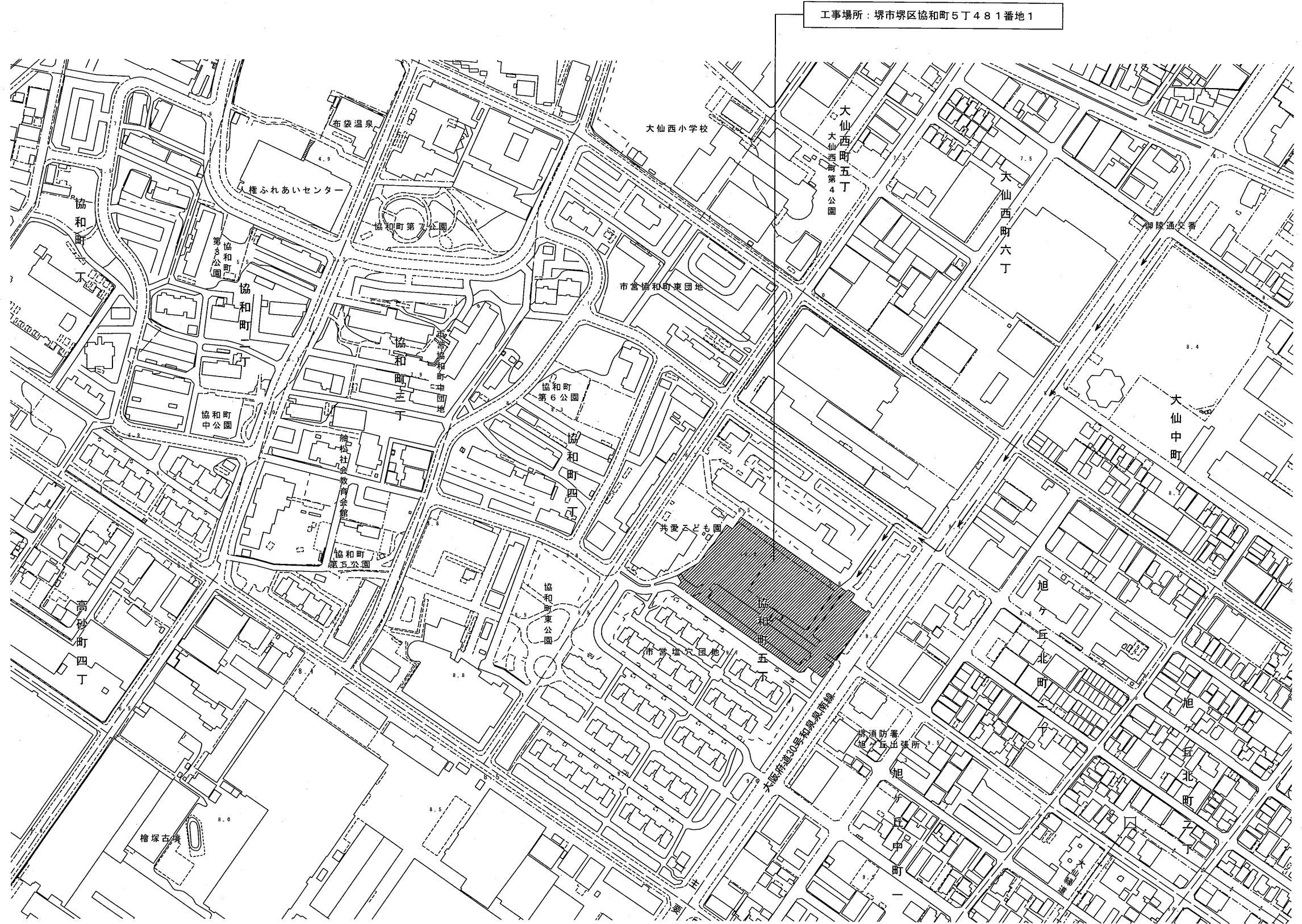


4章 <別表>

表-1 産業廃棄物処理計画書・結果報告書

(工事期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日)						
排出事業者	(名称)	(工事名称)				
	(所在地)	(工事場所)				
産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスコンガラ	その他がれき類	ガラス及び陶磁器くず	プラスチック類	金属くず
[収集・運搬業者]						
名称・所在地						
排出地許可番号						
処分地許可番号						
[処分業者・処分先]						
名称・施設所在地						
許可番号						
処分方法						
処分量(予定)						
処分量(実施)						

2012.8	改訂	2021.5	改訂	工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事			
2014.4	改訂	2023.4	改訂	図面名称	特記仕様書4			
2014.12	改訂			A3縮尺	—	A1縮尺	—	
2015.9	改訂			堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A-O4	
2016.4	改訂			0 25 50 75				
2017.7	改訂							
2018.4	改訂							
2020.4	改訂							
2021.4	改訂							



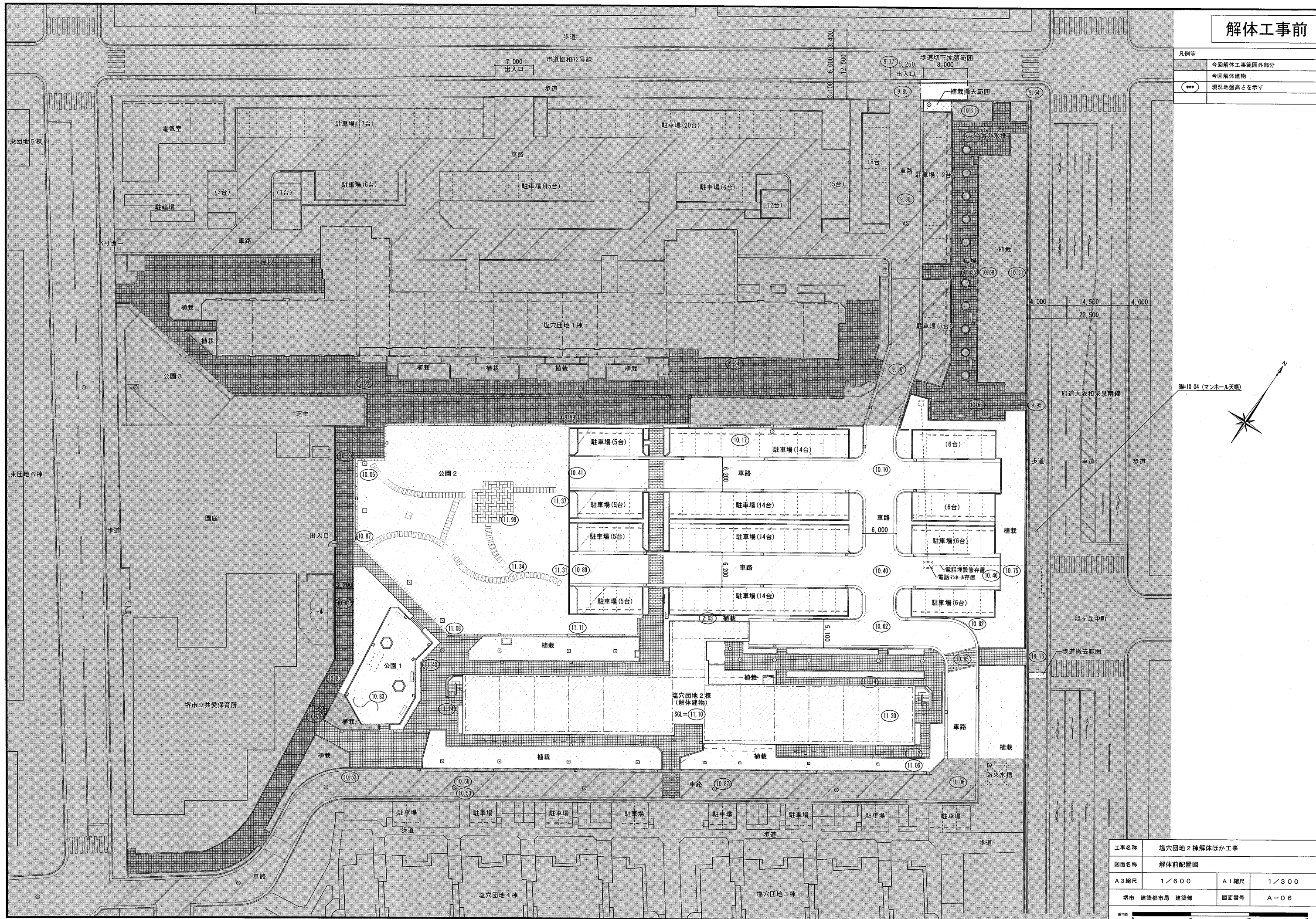
工事場所：堺市堺区協和町5丁481番地1

付近見取図 S:1/3000

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	付近見取図		
A3縮尺	1/3000	A1縮尺	1/1500
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A-05

解体工事前

凡例等	
今回解体工事範囲外部分	
今回解体建物	
現況地盤高さを示す	***

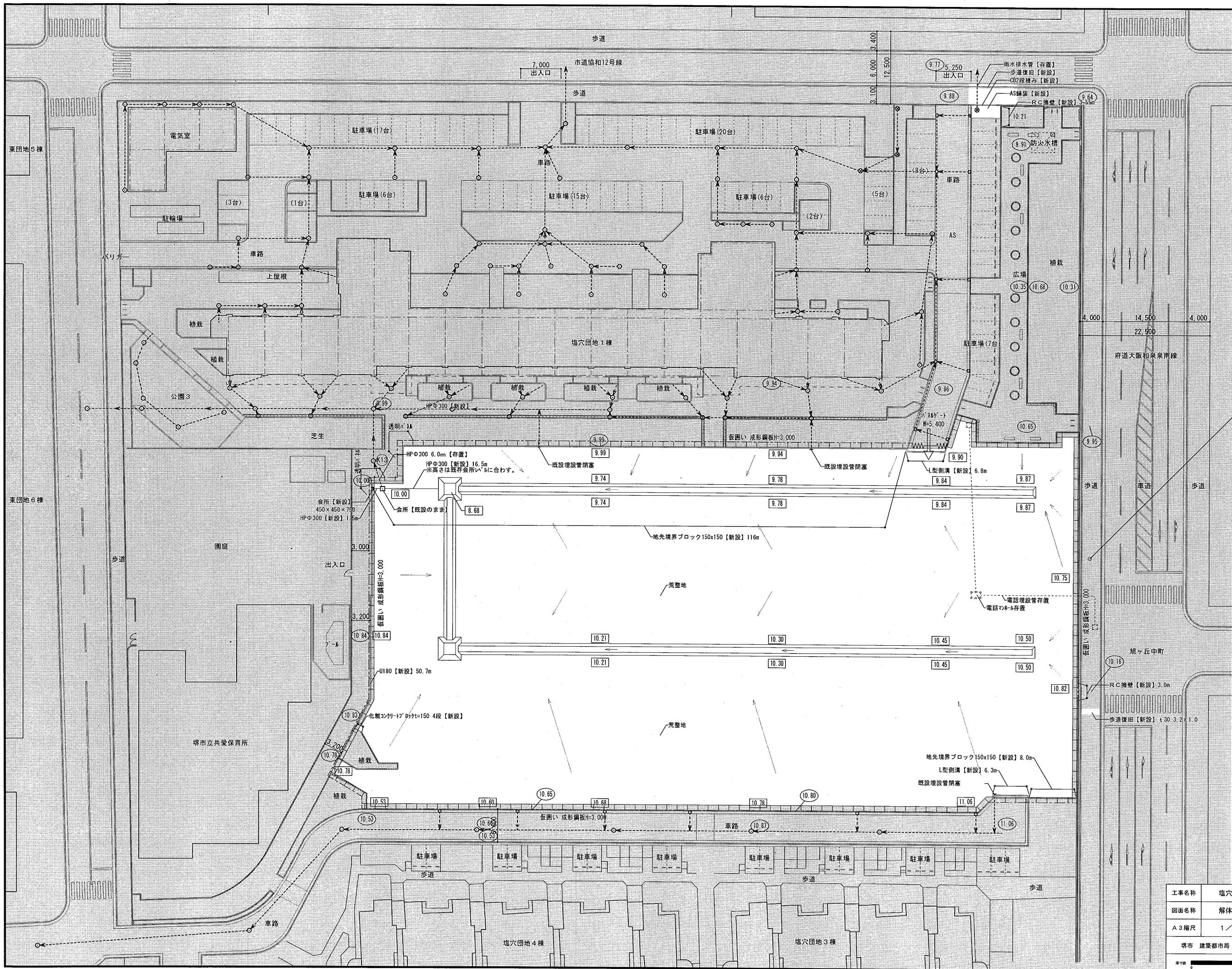
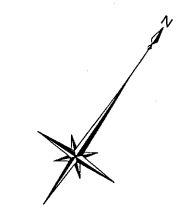


工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	解体前配置図		
A3縮尺	1／600	A1縮尺	1／300
堺市 建築都市局 建築部	図面番号		A－06
備考欄			

解体工事後

凡例等

今回解体工事範囲外部分
仮囲い 成形鋼板H=3,000
*** 現況地盤高さを示す
*** 計画地盤高さを示す

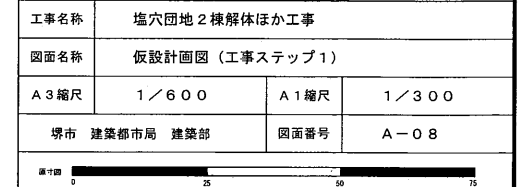


工事名称	堀穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	解体後配置図		
A3縮尺	1／600	A1縮尺	1／300
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A－07	

図寸法			
-----	-------------	--	--

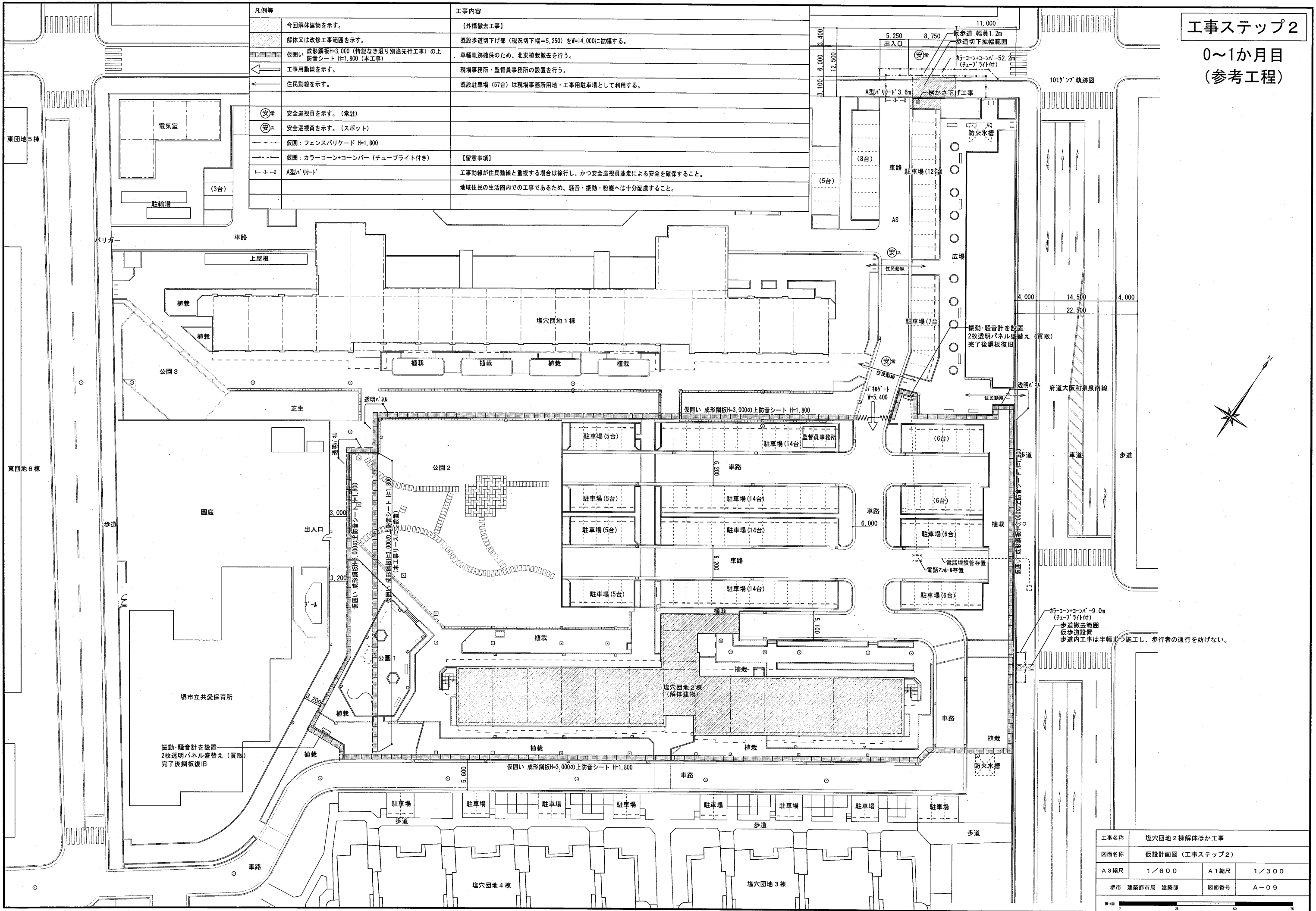
工事着手前

		【留意事項】
		工事動線が住民動線と重複する場合は徐行し、かつ安全監視員並走による安全を確保すること。
		地域住民の生活圏内での工事であるため、騒音・振動・粉塵へは十分配慮すること。



工事ステップ2

0~1か月目
(参考工程)



工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事			
図面名称	仮設計画図(工事ステップ2)			
A3縮尺	1/600	A1縮尺	1/300	
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A-09		

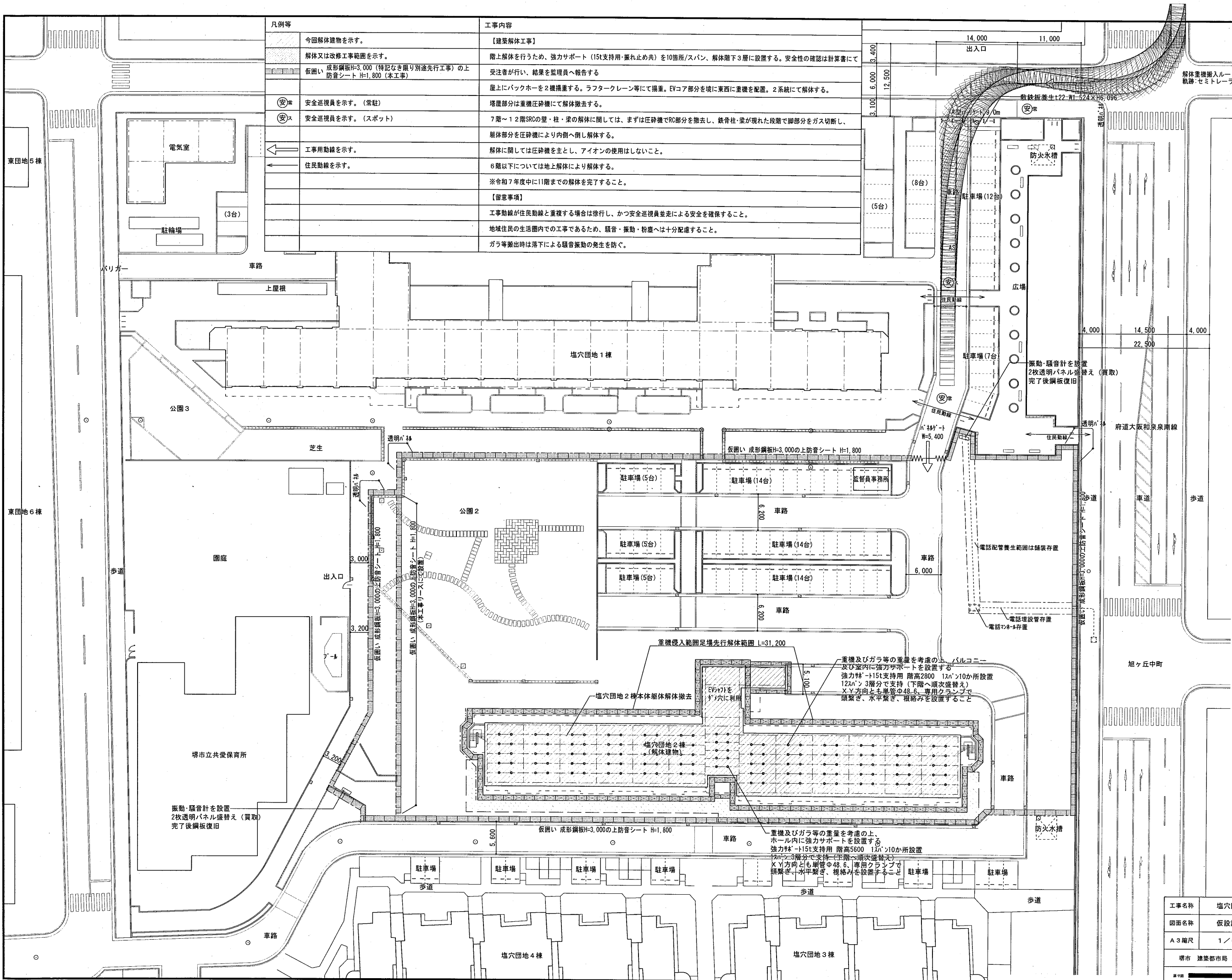
2～5か月目
(参考工程)

工事名称	窪穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	仮設計画図（工事ステップ3）		
A3縮尺	1／600	A1縮尺	1／300
堺市 建築都市局 建築部	図面番号		A－10
図寸法			

工事ステップ4

6～10か月目
(参考工程)

凡例等	工事内容
今回解体建物を示す。	【建築解体工事】
解体又は改修工事範囲を示す。	階上解体を行うため、強力サポート（15t支持用・振れ止め共）を10箇所/スパン、解体階下3層に設置する。安全性の確認は計算書にて
仮囲い 成形鋼板H=3,000（特記なき限り別途先行工事）の上 防音シート H=1,800（本工程）	受注者が行い、結果を監理員へ報告する
	屋上にバックホーを2機搬重する。ラフタークレーン等にて搬重。EVコア部分を境に東西に重機を配置。2系統にて解体する。
安全監視員を示す。（常駐）	塔屋部分は重機圧砕機にて解体撤去する。
安全監視員を示す。（スポット）	7階～12階SRCの壁・柱・梁の解体に関しては、まずは圧砕機でRC部分を撤去し、鉄骨柱・梁が現れた段階で脚部分をガス切断し、
	躯体部分を圧砕機により内側へ倒し解体する。
工事用動線を示す。	解体に関しては圧砕機を主とし、アイオンの使用はしないこと。
住民動線を示す。	6階以下については地上解体により解体する。
	※令和7年度中に11階までの解体を完了すること。
	【留意事項】
	工事動線が住民動線と重複する場合は徐行し、かつ安全監視員並走による安全を確保すること。
	地域住民の生活圏内での工事であるため、騒音・振動・粉塵へは十分配慮すること。
	ガラ等搬出時は落下による騒音振動の発生を防ぐ。



解体重機搬入ルート
軌跡・セミトレーラ 16.5x2.5

敷設板養生t22-W1-524xH6-096

防火水槽

振動・騒音計を設置
2枚透明パネル盛替え（買取）
完了後鋼板復旧

透明パネル

電話配管養生範囲は舗装存置

電話埋設管存置
電話マホ4存置

旭ヶ丘中町

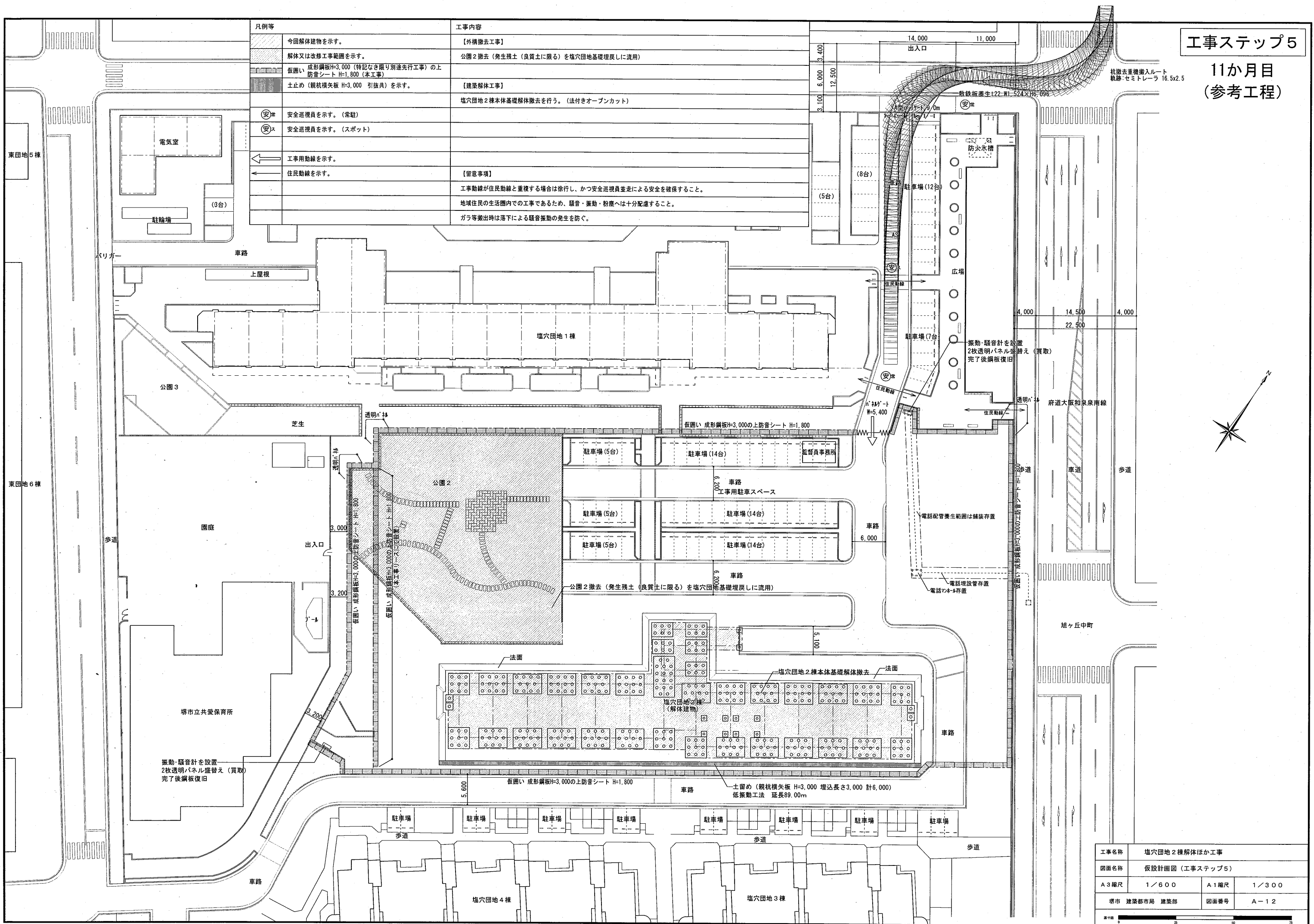
振動・騒音計を設置
2枚透明パネル盛替え（買取）
完了後鋼板復旧

重機及びガラ等の重量を考慮の上、バルコニー
及び室内に強力サポートを設置する
強力サ-ト15t支持用 階高2800 11m'x10'0所設置
12m'x3階分まで支持（下階へ順次盛替え）
X.Y方向とも単管φ48.6 専用クランプで
頭繋ぎ、水平繋ぎ、根絡みを設置すること

重機及びガラ等の重量を考慮の上、
ホール内に強力サポートを設置する
強力サ-ト15t支持用 階高5600 11m'x10'0所設置
12m'x3階分まで支持（下階へ順次盛替え）
X.Y方向とも単管φ48.6 専用クランプで
頭繋ぎ、水平繋ぎ、根絡みを設置すること

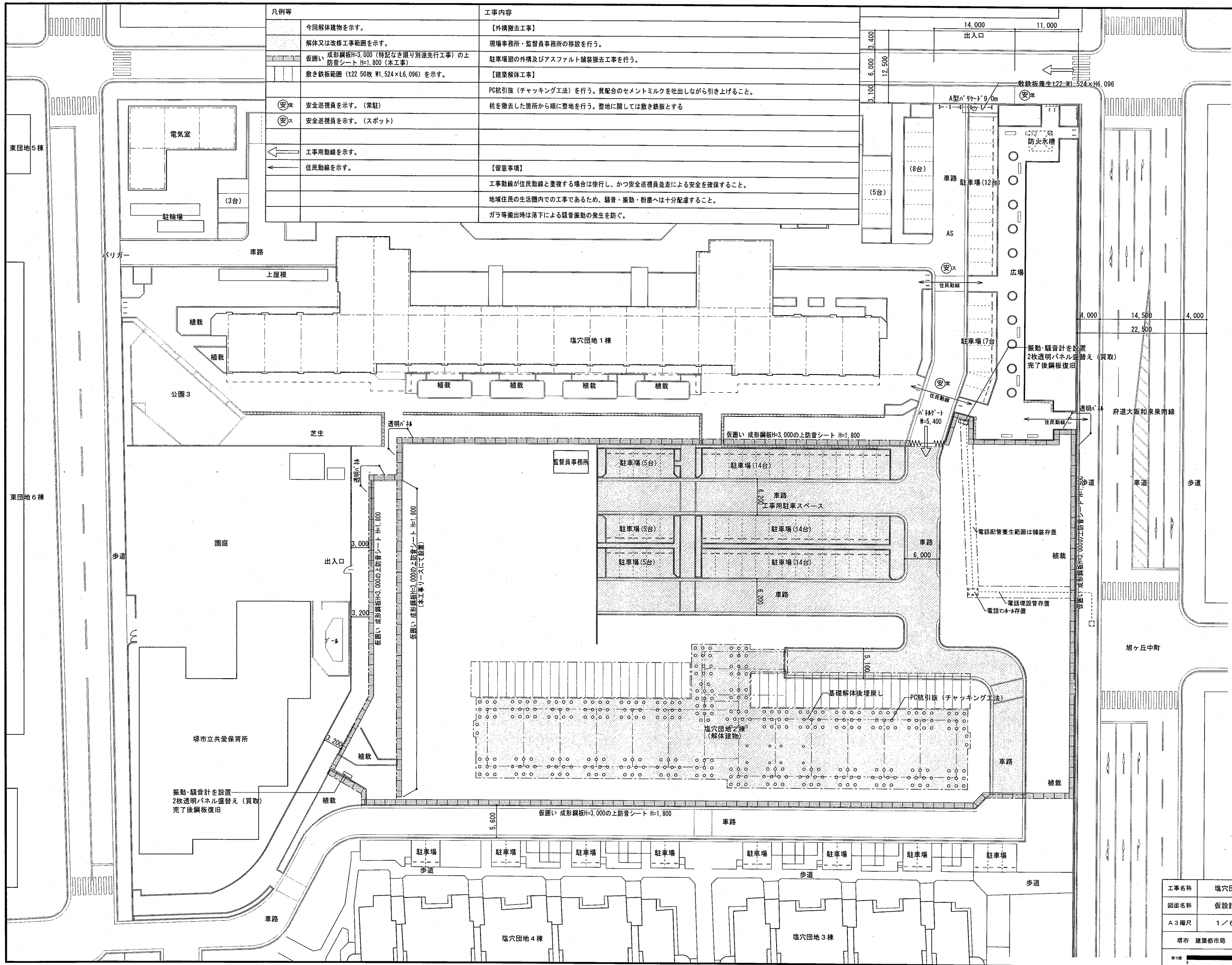
工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事			
図面名称	仮設計画図（工事ステップ4）			
A3縮尺	1/600	A1縮尺	1/300	
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A-11		

11か月目
(参考工程)



工事ステップ6

12~13か月目
(参考工程)

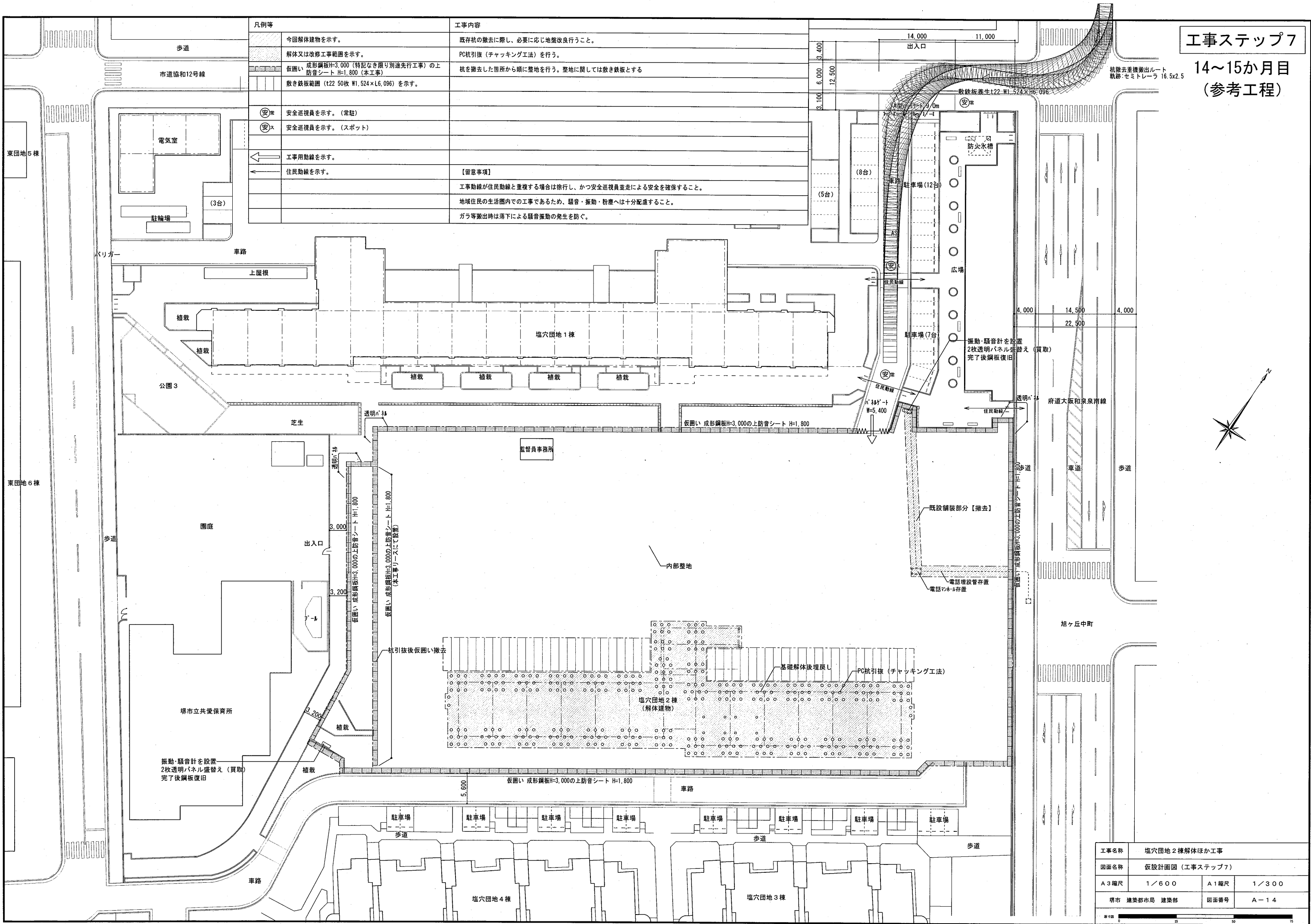


工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	仮設計画図（工事ステップ6）		
A3縮尺	1／600	A1縮尺	1／300
堺市 建築都市局 建築部	図面番号		A－13
縮尺 0 25 50 75			

工事ステップ7

14~15か月目
(参考工程)

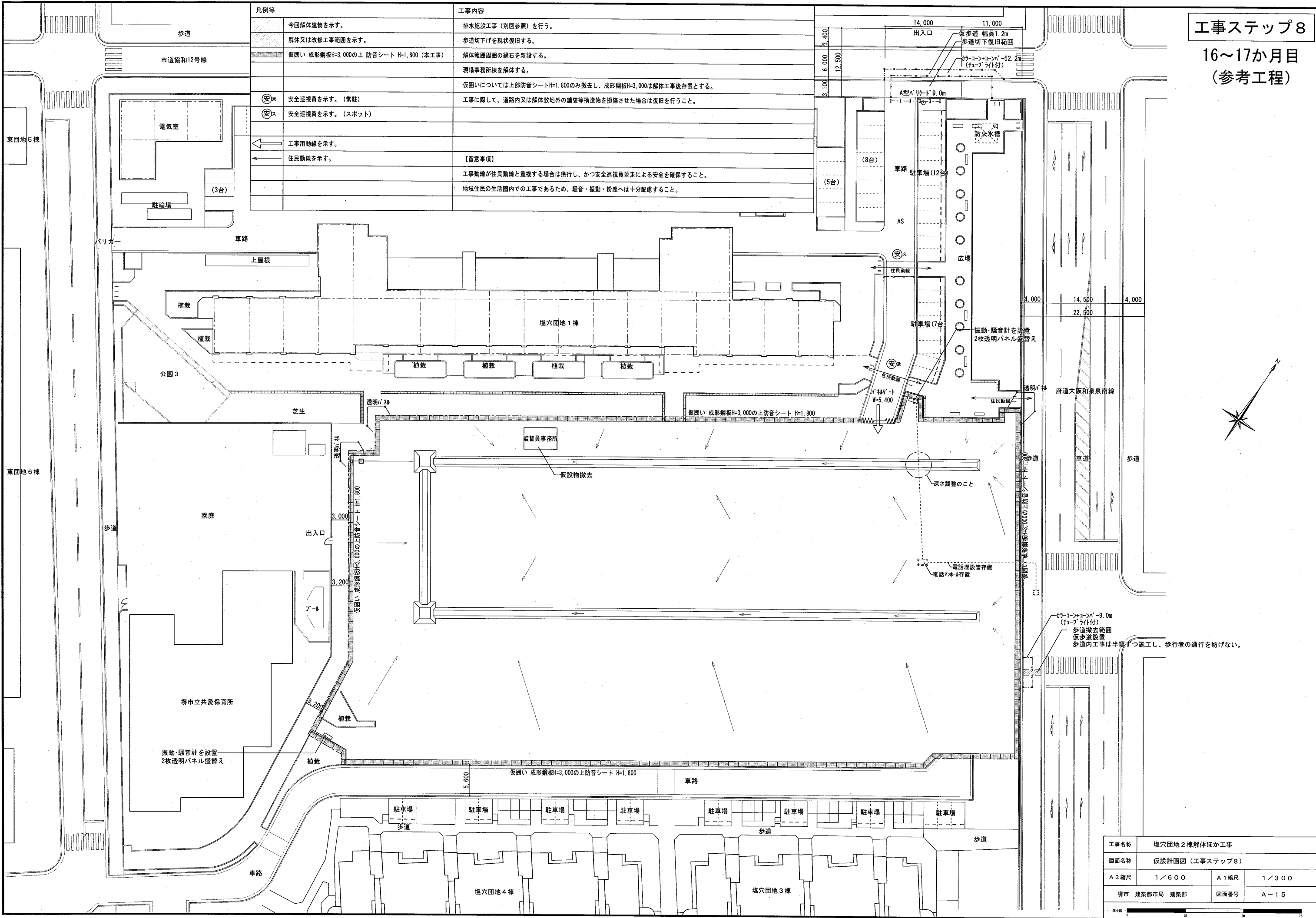
杭撤去重機搬出ルート
軌跡:セミトレーラ 16.5x2.5



凡例等	工事内容
今回解体建物を示す。	既存杭の撤去に際し、必要に応じ地盤改良行うこと。
解体又は改修工事範囲を示す。	PC杭引抜 (チャッキング工法) を行う。
仮囲い 成形鋼板H=3,000 (特記なき限り別途先行工事) の上 防音シート H=1,800 (本工事)	杭を撤去した箇所から順に整地を行う。整地に関しては敷き鉄板とする
敷き鉄板範囲 (t22 50枚 W1,524×L6,096) を示す。	
安全監視員を示す。(常駐)	
安全監視員を示す。(スポット)	
工事用動線を示す。	
住民動線を示す。	
【留意事項】	
工事動線が住民動線と重複する場合は徐行し、かつ安全監視員並走による安全を確保すること。	
地域住民の生活圏内での工事であるため、騒音・振動・粉塵へは十分配慮すること。	
ガラ等搬出時は落下による騒音振動の発生を防ぐ。	

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	仮設計画図 (工事ステップ7)		
A3縮尺	1/600	A1縮尺	1/300
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A-14	

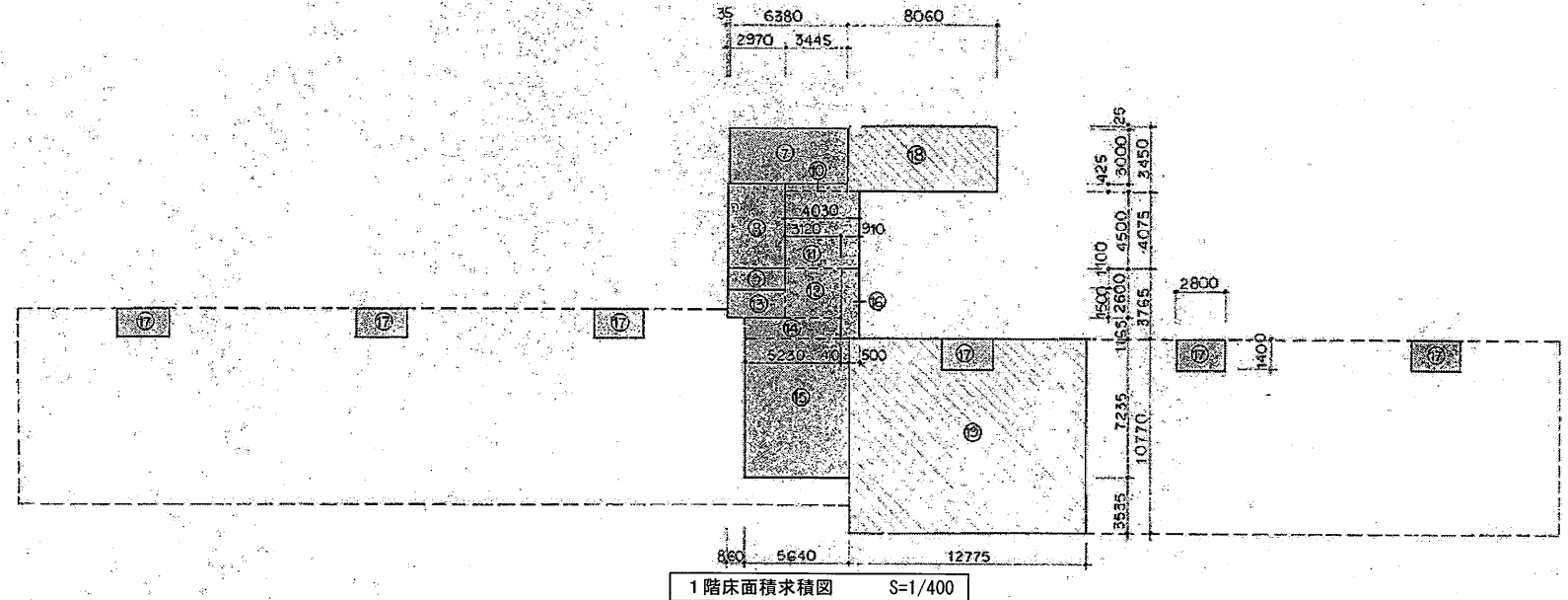
工事ステップ8
16~17か月目
(参考工程)



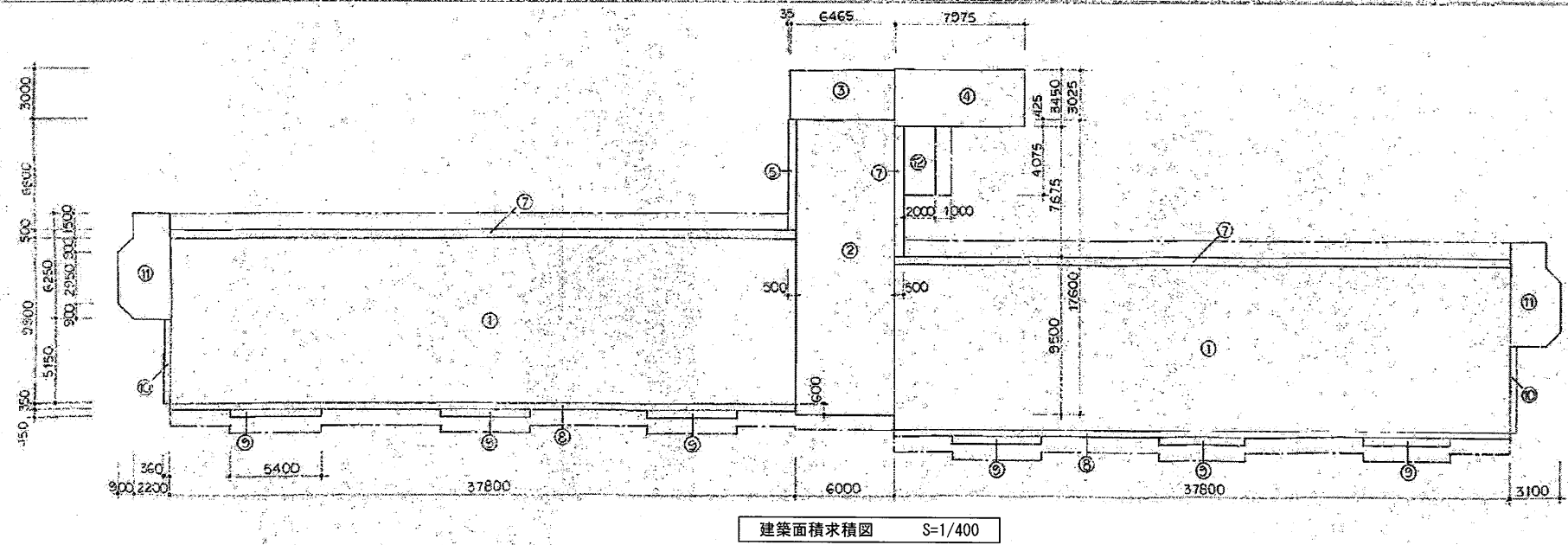
工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	仮設計画図(工事ステップ8)		
A3縮尺	1/600	A1縮尺	1/300
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A-15	

項目	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値
建築面積	M ²	1033.213								
延床面積	M ²	3853.636								
付帯戸数		132								
面積(坪)	M ²	7618.864	坪	57.718						
面積(坪)	M ²	10566.029	坪	80.045						

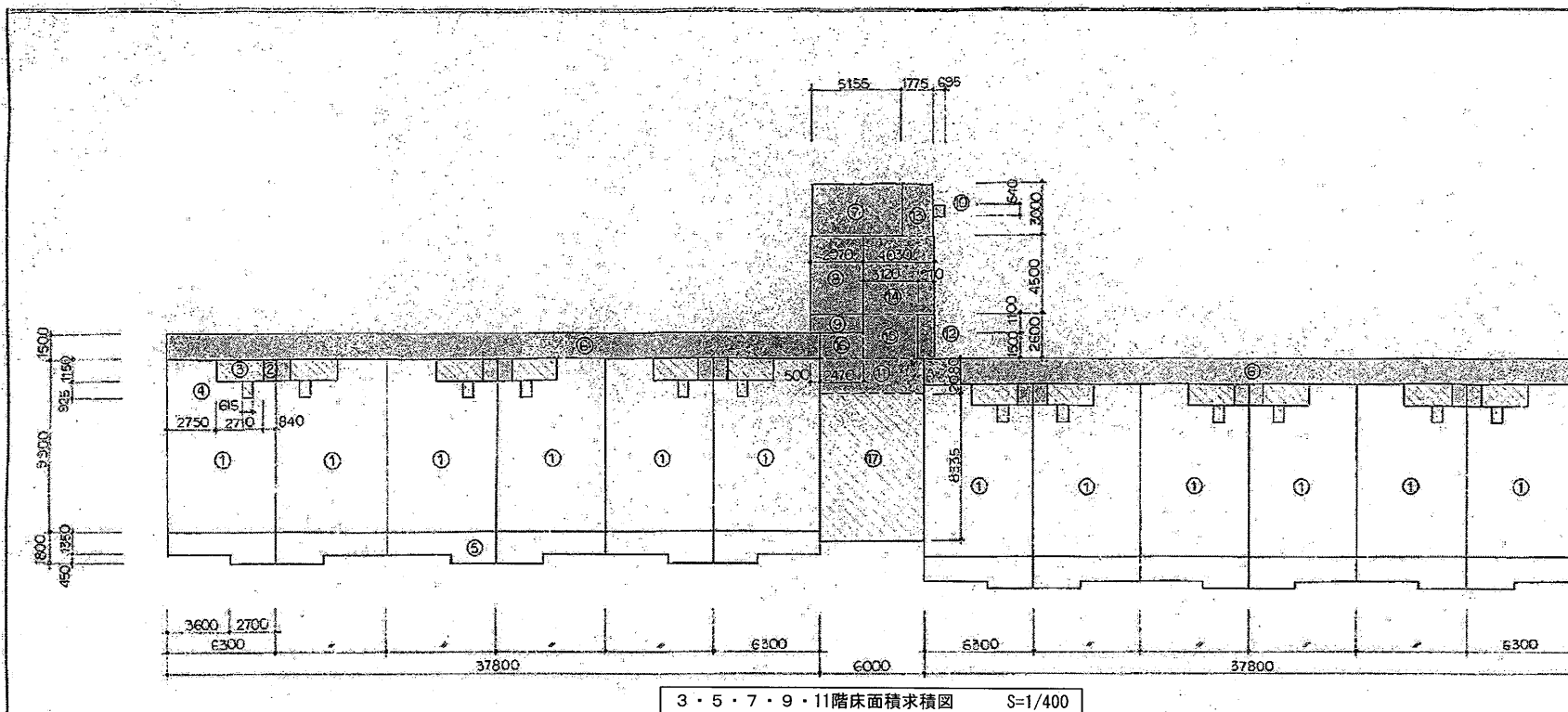
階	延床面積	付帯戸数	面積(坪)	面積(坪)	面積(坪)
1 階	692.624		140.069	161.473	301.542
2 階	692.624		247.911	53.373	281.114
3 階	692.624		207.656	94.234	281.114
4 階	692.624		207.656	14.224	281.104
5 階	692.624		207.656	94.234	281.114
6 階	692.624		207.656	44.224	281.104
7 階	692.624		207.656	94.234	281.114
8 階	692.624		207.656	44.224	281.104
9 階	692.624		207.656	94.234	281.114
10 階	692.624		207.656	44.224	281.104
11 階	692.624		207.656	94.234	281.114
12 階	692.624		207.656	44.224	281.104
地下 1 階			54.945		54.945
地下 2 階				54.945	54.945
合 計	7618.864	427.680	2519.485	962.687	9853.636



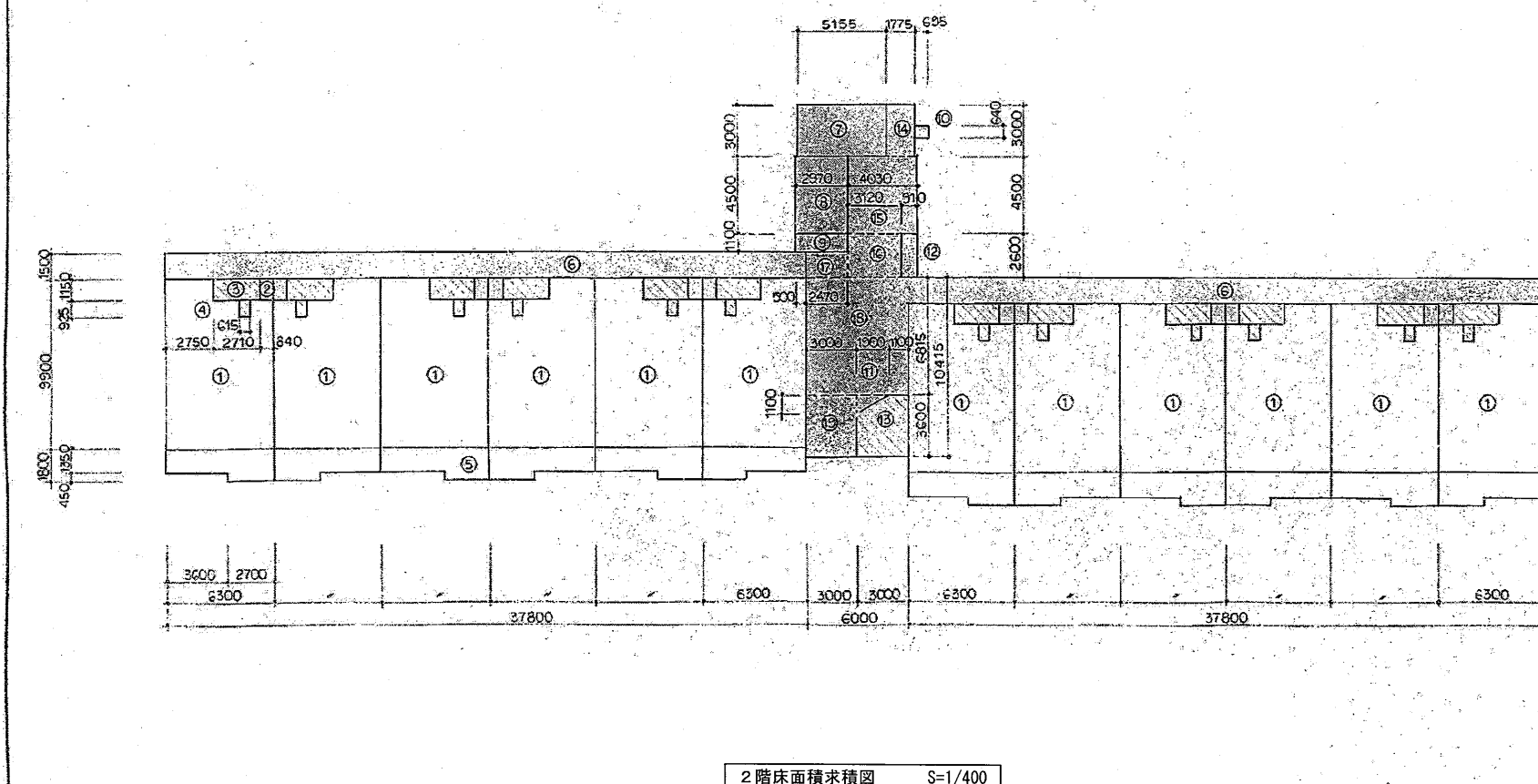
1階床面積	計	延床面積	付帯戸数	面積(坪)	面積(坪)
① 6380 × 3.000	19.140			19.140	19.140
② 2970 × 4.500	13.365			13.365	13.365
③ 2970 × 1.100	3.267			3.267	3.267
④ 3445 × 0.425	1.464			1.464	1.464
⑤ 4030 × 4.075	16.422			16.422	16.422
⑥ 3120 × 2.600	8.112			8.112	8.112
⑦ 2970 × 1.500	4.455			4.455	4.455
⑧ 5230 × 1.165	6.093			6.093	6.093
⑨ 5640 × 7.235	40.805			40.805	40.805
⑩ 0.910 × 3.765	3.426			3.426	3.426
⑪ 2.800 × 1.400 × 6	23.520			23.520	23.520
⑫ 8.060 × 3.450	27.807			27.807	27.807
⑬ 12.775 × 10.770 - 2.800 × 1.400	133.666			133.666	133.666
合 計	301.542			140.069	301.542



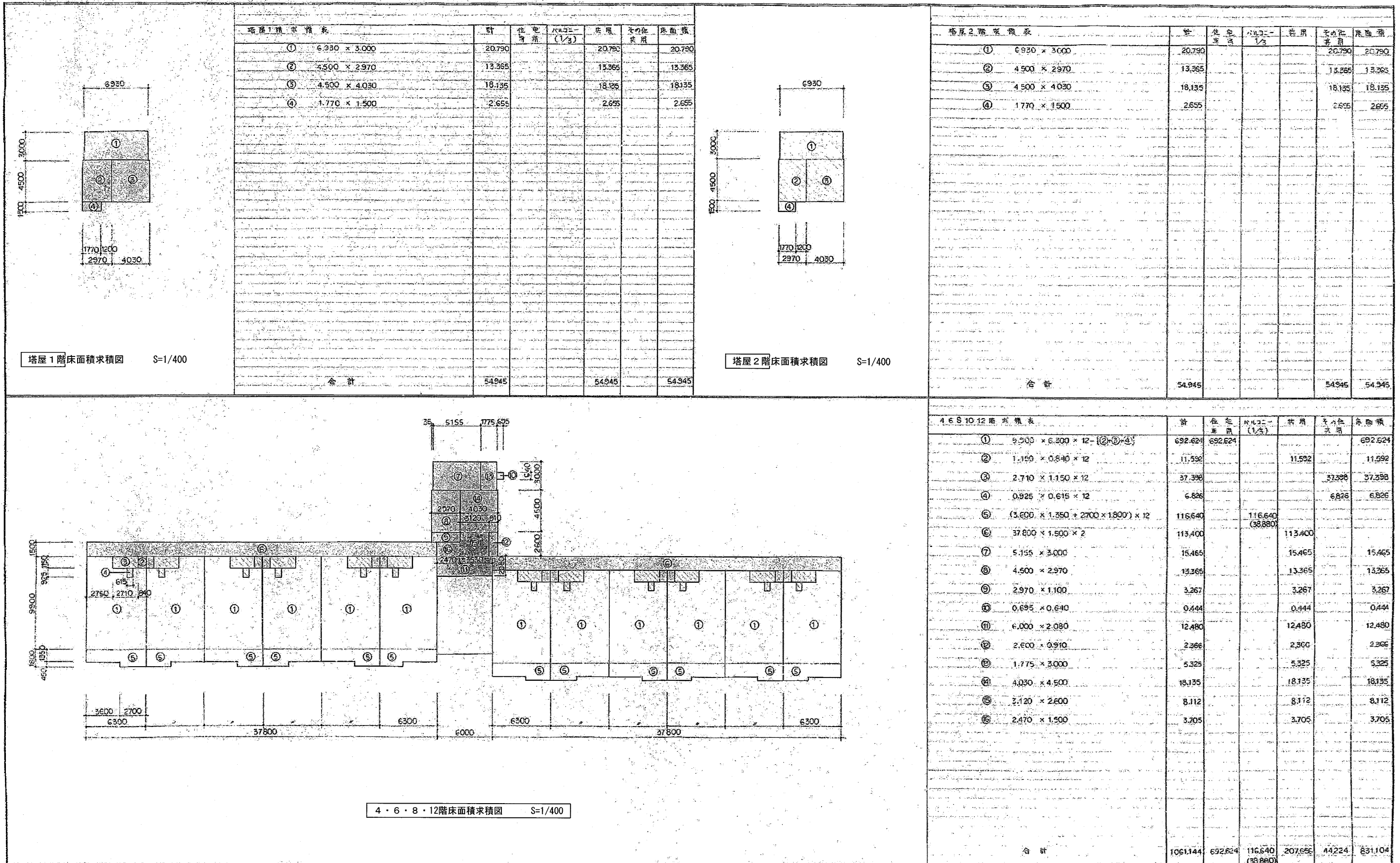
建築面積	単位	数値
① 37.800 × 6.900 × 2	M ²	748.440
② 6.000 × 17.600	M ²	105.600
③ 6.465 × 3.000	M ²	19.395
④ 7.975 × 3.450	M ²	27.513
⑤ 0.500 × 6.600	M ²	3.300
⑥ 0.500 × 7.675	M ²	3.837
⑦ 37.800 × 0.500 × 2	M ²	37.800
⑧ 37.800 × 0.350 × 2	M ²	26.460
⑨ 5.400 × 0.450 × 6	M ²	14.580
⑩ 5.150 × 0.360 × 2	M ²	3.708
⑪ (2.200 × 6.250 + 0.900 × 3.850) × 2	M ²	34.430
⑫ 2.000 × 4.075	M ²	8.150
合 計	M ²	1033.213



3・5・7・9・11階床面積求積表	計	住宅 専用	共同 利用	その他 用途	床面積
① 9,900 × 6,300 × 12 - (②+③+④)	692,624	692,624			692,624
② 1,150 × 0,840 × 12	11,592		11,592		11,592
③ 2,710 × 1,150 × 12	37,398			37,398	37,398
④ 0,925 × 0,615 × 12	6,826			6,826	6,826
⑤ (3,600 × 1,350 + 2,700 × 1,800) × 12 ⑤ × 1/3	116,640	116,640 (38,880)			
⑥ 37,800 × 1,500 × 2	113,400		113,400		
⑦ 5,155 × 3,000	15,465		15,465		15,465
⑧ 4,500 × 2,970	13,365		13,365		13,365
⑨ 2,970 × 1,100	3,267		3,267		3,267
⑩ 0,695 × 0,640	0,444		0,444		0,444
⑪ 6,000 × 2,060	12,480		12,480		12,480
⑫ 2,600 × 0,910	2,366		2,366		2,366
⑬ 1,775 × 3,000	5,325		5,325		5,325
⑭ 4,030 × 4,500	18,135		18,135		18,135
⑮ 3,120 × 2,600	8,112		8,112		8,112
⑯ 2,470 × 1,500	3,705		3,705		3,705
⑰ 6,000 × 8,335	50,010			50,010	50,010
合計	1111,154	692,624	116,640 (38,880)	207,656	881,114



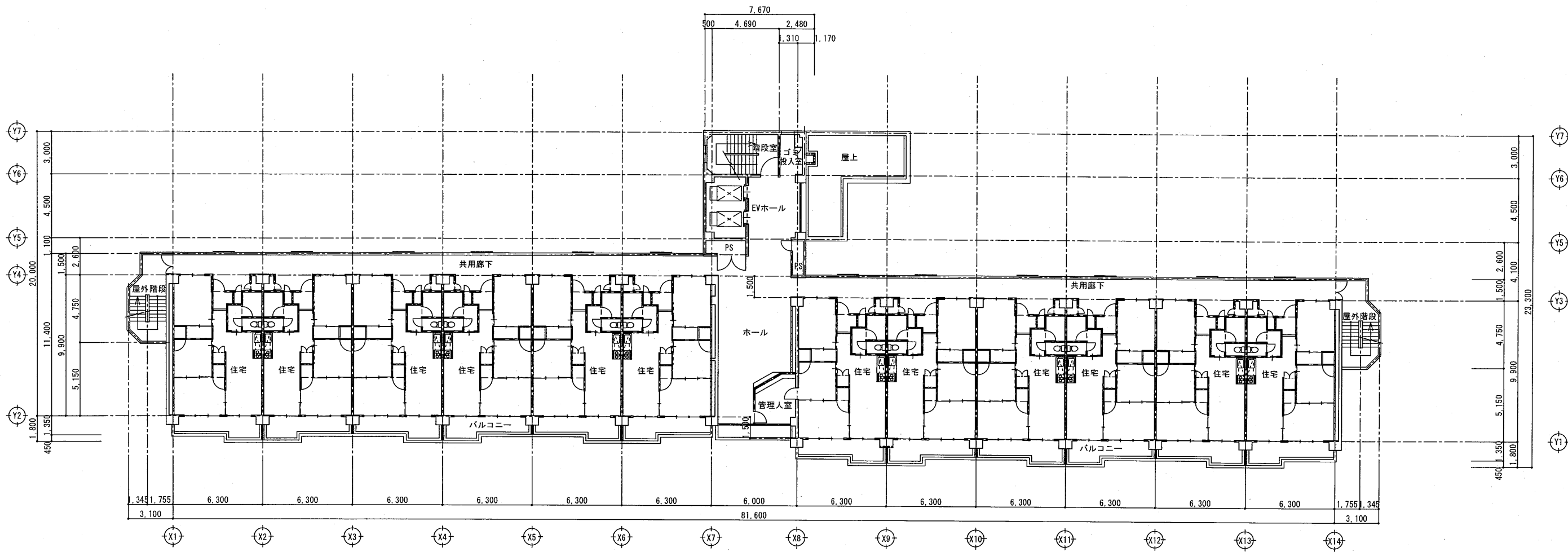
2階床面積求積表	計	住宅 専用	共同 利用	その他 用途	床面積
① 9,900 × 6,300 × 12 - (②+③+④)	692,624	692,624			692,624
② 1,150 × 0,840 × 12	11,592		11,592		11,592
③ 2,710 × 1,150 × 12	37,398			37,398	37,398
④ 0,925 × 0,615 × 12	6,826			6,826	6,826
⑤ (3,600 × 1,350 + 2,700 × 1,800) × 12 ⑤ × 1/3	116,640	116,640 (38,880)			
⑥ 37,800 × 1,500 × 2	113,400		113,400		
⑦ 5,155 × 3,000	15,465		15,465		15,465
⑧ 4,500 × 2,970	13,365		13,365		13,365
⑨ 2,970 × 1,100	3,267		3,267		3,267
⑩ 0,695 × 0,640	0,444		0,444		0,444
⑪ 1,900 × 1,100 × 0.5	1,045		1,045		1,045
⑫ 2,600 × 0,910	2,366		2,366		2,366
⑬ 3,000 × 3,600 - 100 × 1,800 × 0.5	9,755			9,755	9,755
⑭ 1,775 × 3,000	5,325		5,325		5,325
⑮ 4,030 × 4,500	18,135		18,135		18,135
⑯ 3,120 × 2,600	8,112		8,112		8,112
⑰ 2,470 × 1,500	3,705		3,705		3,705
⑱ 6,000 × 6,815	40,890			40,890	40,890
⑲ 3,000 × 3,500	10,500		10,500		10,500
合計	1111,154	692,624	116,640 (38,880)	247,911	881,114



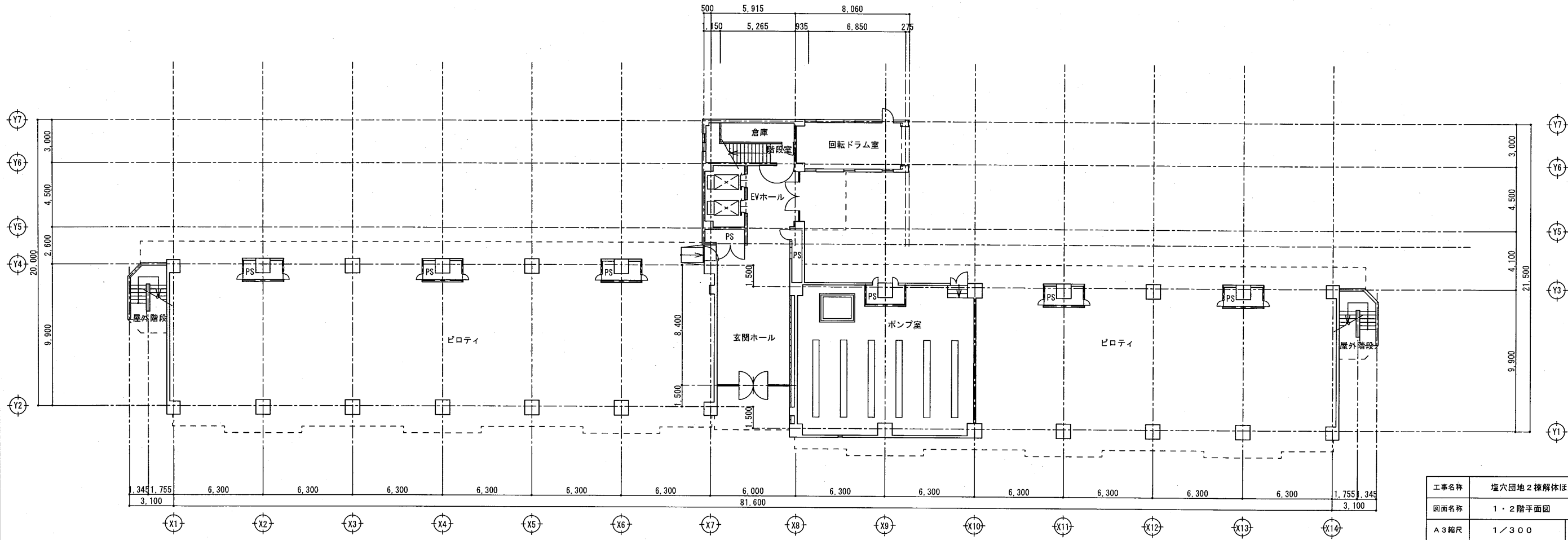
[illegible]

内 部 仕 上 表													
階	室 名	下地	床	巾木	塗装	壁	塗装	梁型	塗装	天井	特記なき 木部塗装	備 考	
			仕 上	仕 上		仕 上		仕 上					
共通 (住宅部分)	玄関	RC W	合成樹脂塗床材 t-2 (モルタルコテ押え下地)	モルタルコテ押え H=60	VP	★PB t-12 (GL工法) 下地が珪繊維が貼 ★PB t-12下地が珪繊維が貼				★PB t-9下地が珪繊維が貼 (不燃) 貼り	SOP	下足棚、吊戸棚、室名札	
	廊下	RC W	フローリング t-12貼り	木製 H=60	OP	★PB t-12 (GL工法) 下地が珪繊維が貼 ★PB t-12下地が珪繊維が貼				★PB t-9下地が珪繊維が貼 (不燃) 貼り	SOP	カーテンレール	
	台所・食堂	RC W	フローリング t-12貼り	木製 H=60	OP	★PB t-12 (GL工法) 下地が珪繊維が貼一部100角が貼 ★PB t-12下地が珪繊維が貼一部100角が貼		★PB t-12 (GL工法) 下地が珪繊維が貼		★PB t-9下地が珪繊維が貼 (不燃) 貼り	SOP	流し台、コンロ台、吊戸棚、食器棚、水切、換気フード、カーテンレール	
	洗面	RC W	フローリング t-12貼り	木製 H=85	OP	モルタルコテ押え	VP	モルタルコテ押え	VP	石綿ケイカル板 t-6	VP	SOP	吊戸棚、カーテンレール、タオル掛け金物
	浴室	RC	磁器質25角モザイクタイル (★アスファルト防水下地) 一部防水モルタル	磁器質75角タイル (★アスファルト防水下地H=300)		半磁器質75角タイル貼り		半磁器質75角タイル貼り		塩ビ製りブ貼り		SOP	風呂煮取付枠
	便所	RC W	合成樹脂塗床材 t-2 (塗膜防水下地)	磁器質100角タイル (塗膜防水下地H=300)		半磁器質100角タイル貼り				石綿ケイカル板 t-6	VP	SOP	タオル掛け金物
	和室6帖A	RC W	畳 (n-1材) t-13下地) 一部縁甲板t-12	畳寄せ		★PB t-12 (GL工法) 下地ジュラク塗 ★PB t-12下地ジュラク塗		★PB t-12 (GL工法) 下地ジュラク塗		ﾌｵﾝﾄ合板t-2.7貼り、11・12Fのみ ★化粧石膏ボードt-9			カーテンレール、外面格子、クーラー取付用インサートボルト クーラー取付用スリーブ
	和室6帖B	RC W	畳 (n-1材) t-13下地)	畳寄せ		★PB t-12 (GL工法) 下地ジュラク塗 ★PB t-12下地ジュラク塗		★PB t-12 (GL工法) 下地ジュラク塗		ﾌｵﾝﾄ合板t-2.7貼り、11・12Fのみ ★化粧石膏ボードt-9			
	和室4.5帖	RC W	畳 (n-1材) t-13下地)	畳寄せ		★PB t-12 (GL工法) 下地ジュラク塗 ★PB t-12下地ジュラク塗		★PB t-12 (GL工法) 下地ジュラク塗		ﾌｵﾝﾄ合板t-2.7貼り、11・12Fのみ ★化粧石膏ボードt-9			カーテンレール、クーラー取付用インサートボルト、クーラー取付用スリーブ
	押入・物入	RC W	ラワン合板t-9.0貼り	雑巾槽		ラワン合板t-2.7貼り ラワン合板t-2.7貼り							
	天袋	RC W	ラワン合板t-5.5貼り	雑巾槽		ラワン合板t-2.7貼り一部ラワン合板 (穴) t-2.7貼り		ラワン合板t-2.7貼り		中段：ラワン合板t-5.5貼り 一般階：RC打放し 最上階：ラワン合板t-2.7貼り			
	P、S	RC	防水モルタル	防水モルタル H=100		RC打放し		RC打放し		RC打放し			消火器ボックス、保温材：牛毛フェルト (設備工事)
	焚口	RC	防水モルタル	防水モルタル H=100		RC打放し		RC打放し		RC打放し			
	共通 (共用部分)	屋内階段	RC	合成樹脂塗床材 t-2 (モルタル下地) 踊場のみシボ付合成樹脂塗床材 t-2 (モルタル下地)	モルタル (段厚H=50) H=100	VP	モルタルコテ押え 目地切 目地：塩ビ製目地	VP	RC打放しの上 ※吸音材吹付t-5		RC打放し※吸音材吹付t-5一部★珪繊維ケイカル板 t-6 ※吸音材吹付t-5 最上階のみ木毛板 t-25打込みの上 ※吸音材吹付t-5	VP	SOP
E Vホール		RC	1F:磁器質100角タイル 2F～PHF：シボ付合成樹脂塗床材 t-2 (防水珪砂目地切下地) ★珪砂タイル	テラゾーブロック H=100		モルタルコテ押え《吹付タイル》		モルタルコテ押え《吹付タイル》		1Fのみ：★PB t-9下地 珪繊維吸音板 t-15貼り 2～PH階：★PB t-9下地 珪繊維吸音板 t-12貼り	AEP SOP	SOP	階数表示板、照明ボックス
E Vかご													
(共用部分) 玄関ホール		RC	1F:磁器質100角タイル	テラゾーブロック H=100		モルタルコテ押え《吹付タイル》		モルタルコテ押え《吹付タイル》		★PB t-9下地 珪繊維吸音板 t-15貼り	AEP	SOP	集合郵便受、連絡板
1階	ポンプ室	RC	防水モルタル	防水モルタル H=100		RC打放し		RC打放し		木毛板 t-25打込み		SOP	室名札、消火器
	倉庫	RC	防水モルタル	防水モルタル H=100		RC打放し CB t-100		RC打放し		RC打放し		SOP	室名札
	回転ドラム室	RC	防水モルタル	防水モルタル H=300		RC打放し		RC打放し		木毛板 t-25打込み		SOP	室名札
2階	ホール	RC	シボ付合成樹脂塗床材 t-2 (防水モルタル目地切下地)	テラゾーブロック H=100		モルタルコテ押え《吹付タイル》		モルタルコテ押え《吹付タイル》		★PB t-9下地 珪繊維吸音板 t-12貼り			
	管理人室	RC	シボ付合成樹脂塗床材 t-2 (モルタル目地切下地)	モルタル H=100	VP	モルタルコテ押え 柱型：モルタルコテ押え《吹付タイル》		モルタルコテ押え《吹付タイル》		★PB t-9下地 珪繊維吸音板 t-12貼り		SOP	室名札、掲示板
2階～12階	ゴミ投入室	RC	磁器質25角モザイクタイル (塗膜防水下地)	防水モルタル H=100	VP	モルタルコテ押え		モルタルコテ押え	VP	石綿ケイカル板 t-6	VP	SOP	室名札、木製用具庫ブース
	掃除具入	RC	磁器質25角モザイクタイル (塗膜防水下地)	防水モルタル H=100	VP	モルタルコテ押え		モルタルコテ押え	VP	石綿ケイカル板 t-6	VP	SOP	
3階～12階	幼児遊び場	RC	防水モルタル	テラゾーブロック H=100		モルタルコテ押え《吹付タイル》 3・5・7・11F：磁器質47角モザイクタイル貼り		RC打放しの上《吹付タイル》 3・5・7・11F：磁器質47角モザイクタイル貼り		RC打放しの上※アクリルリシン吹付 一部：石綿ケイカル板 t-6		SOP	
PH階	E V機械室	RC	軽量コンクリートt-100 (モルタル目地切)	モルタル H=300		RC打放し		RC打放し		木毛板 t-25打込み		SOP	室名札、 保温材：牛毛フェルト (設備工事)、★フランジパッキン (設備工事)

■特記事項 ・石綿含有の有無は本図による ・モルタル及び防水モルタルは全て金ゴテ押さえ ・ベニヤはラワンベニヤ 2.7mmはタイプⅢ 5.5mmはタイプⅡ	■アスベスト含有建材凡例 レベル3 (仕上塗材及び下地調整材) レベル3 (下地調整材) ★レベル3 (下地調整材) みなし レベル3 (成形板) ★レベル3 (成形板) みなし ※: 分析の結果非含有	■仕上凡例												工事名称 塩穴団地 2 棟解体ほか工事
		MO押	モルタル塗コテ押え	CB	コンクリートブロック	PW	合板	GP	ガスパイプ	OS	油性ステイン塗	T吹付	吹付タイル	
		MO刷毛	モルタル塗刷毛引	B	レンガ	PW(穴)	穴明合板	VP	硬質塩ビ製パイプ	LC	クリヤラッカー塗	AR吹付	アクリルリシン吹付	
		人研	人造石研ぎ出し	TZB	テラゾーブロック	LB	ラミネートプリント合板	F-B	フラットバー	AEP	合成樹脂珪藻土系塗	A防水	アスファルト防水	
		SOF	合成樹脂塗床材	人研B	人研ブロック	PB	石膏ボード	PL	金属板	GFP	グラファイトペイント塗	G塗防水	塗膜防水	
		防水MO	防水モルタル塗	VC	ビニールクロス	SKB	石綿ケイカル板	OP	油性調合ペイント塗	VP	ビニール系エナメル塗	G防水	シート防水	
		BK仕上	RC打放し仕上	GC	ガラス繊維クロス	RWtoK	岩綿吸音板	SOP	合成樹脂調合ペイント塗					
図面番号 A - 1 9														

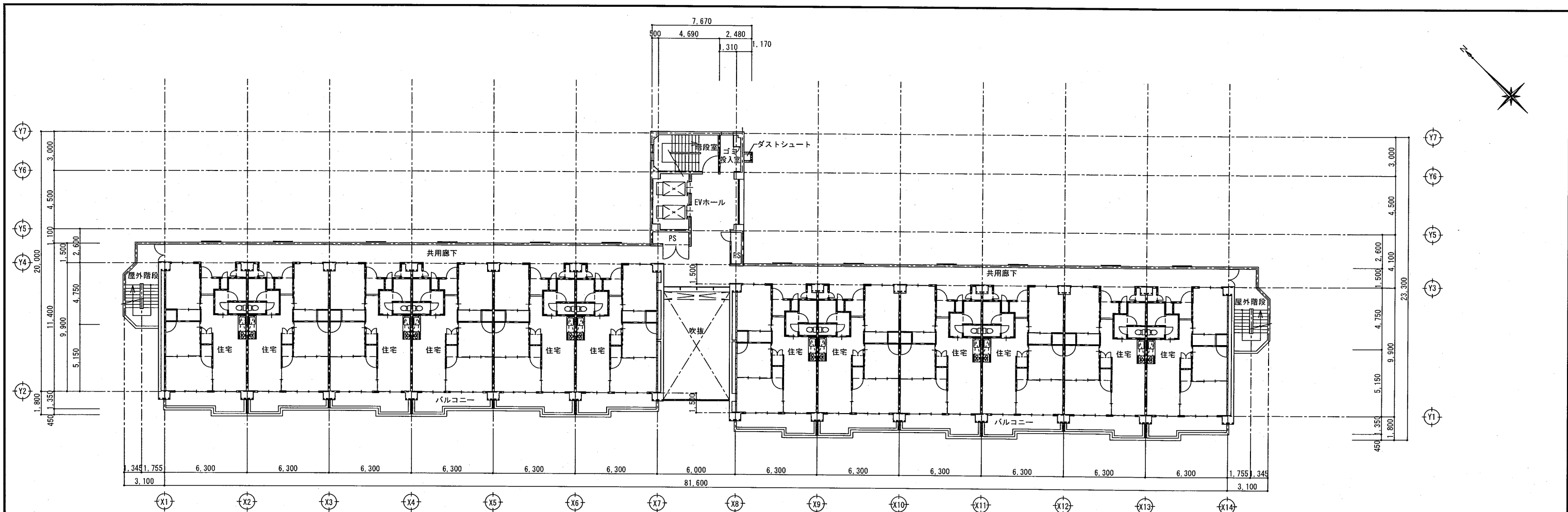


2階平面図 S=1/300

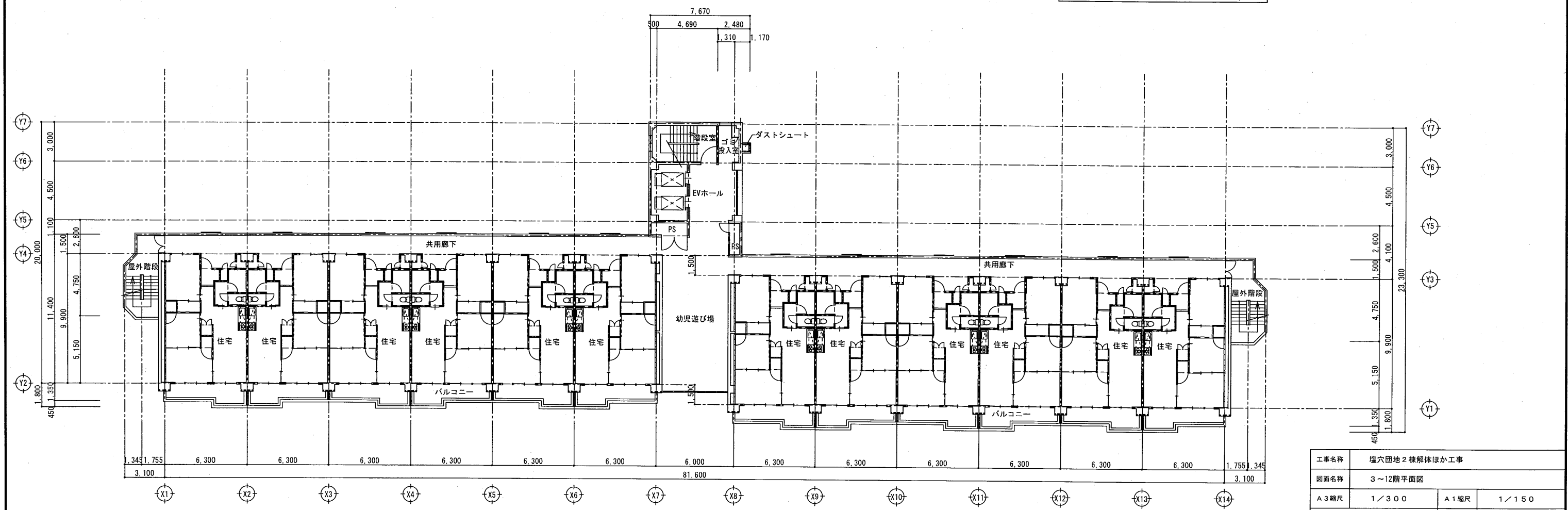


1階平面図 S=1/300

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	1・2階平面図		
A3縮尺	1／300	A1縮尺	1／150
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A－20	
図例 0 25 50 75			

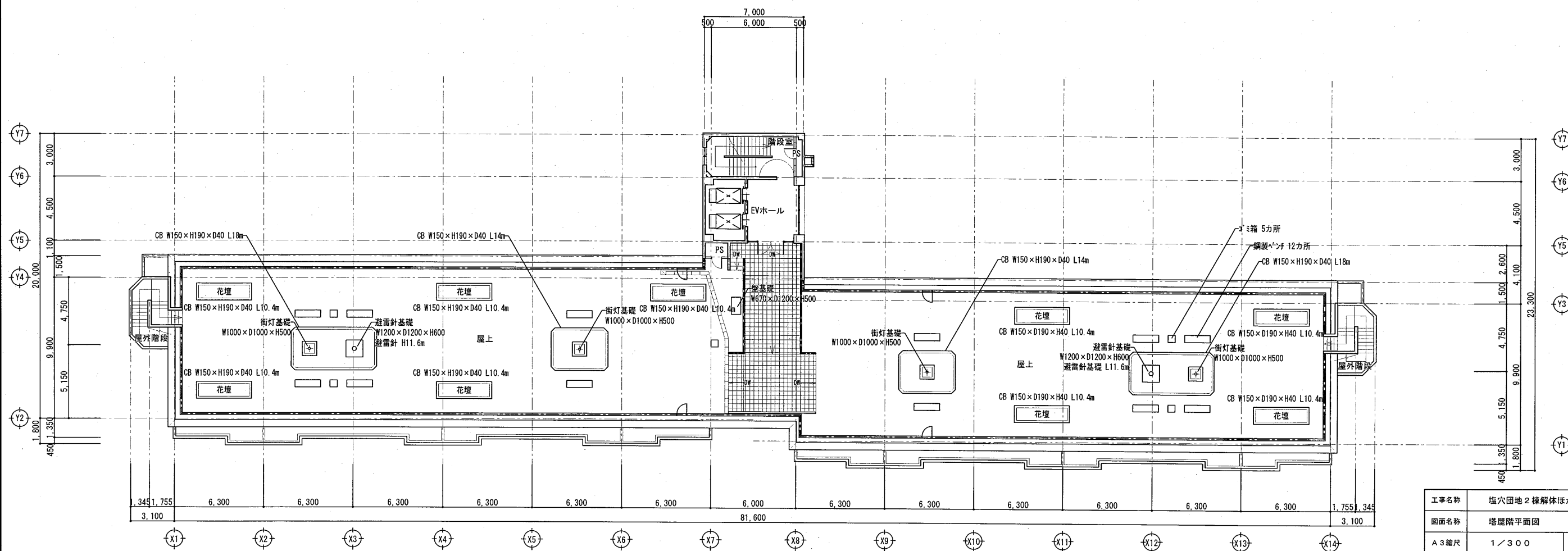
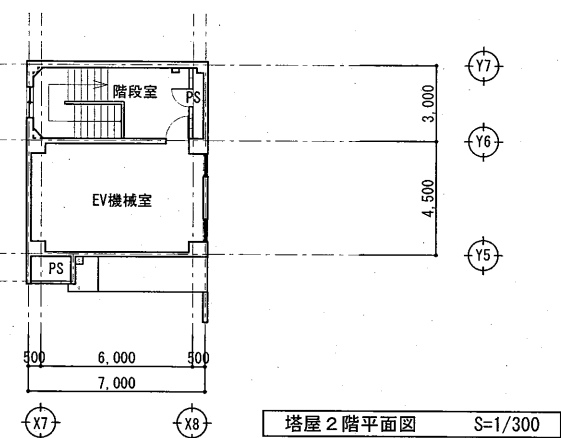
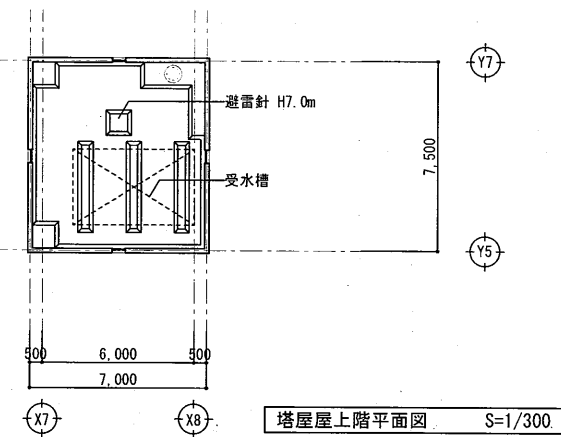
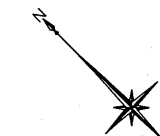


4・6・8・10・12階平面図 S=1/300



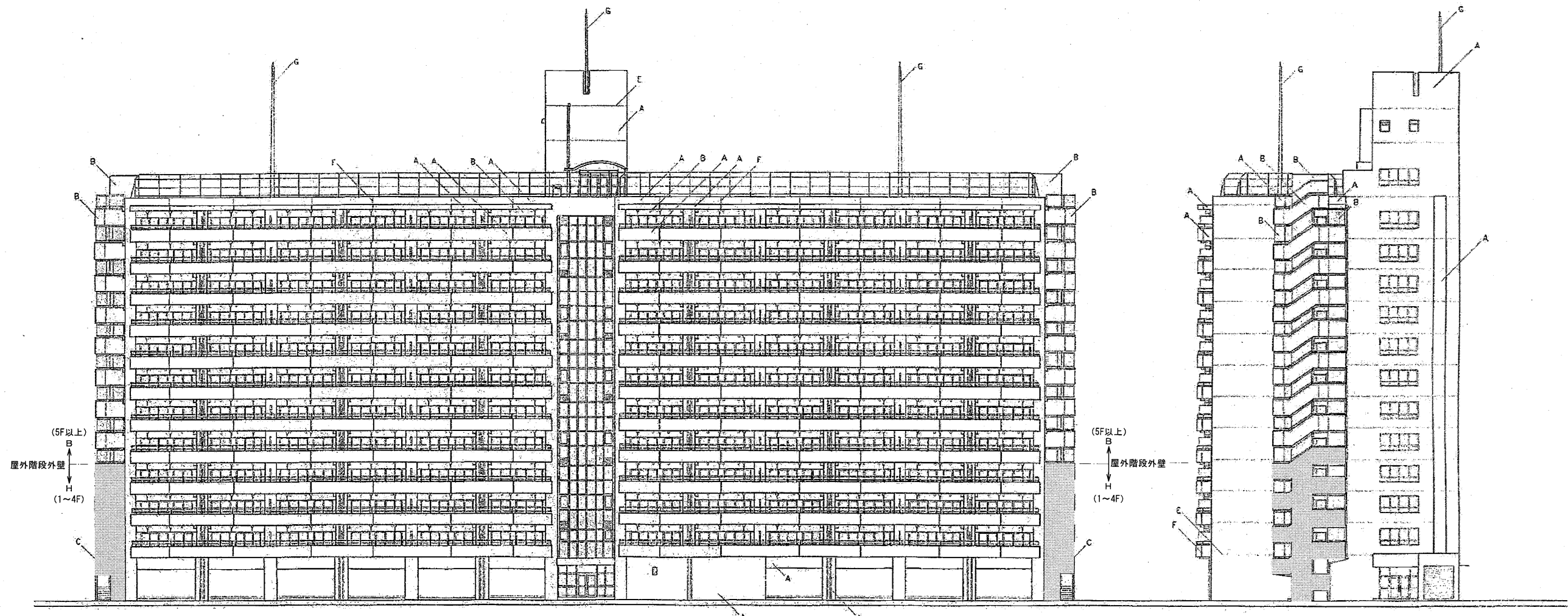
3・5・7・9・11階平面図 S=1/300

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	3～12階平面図		
A3縮尺	1／300	A1縮尺	1／150
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A－21	
縮尺図 0 25 50 75			



工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	塔屋階平面図		
A3縮尺	1／300	A1縮尺	1／150
発行 建築都市局 建築部	図面番号		A－22





南側立面図 S=1/400

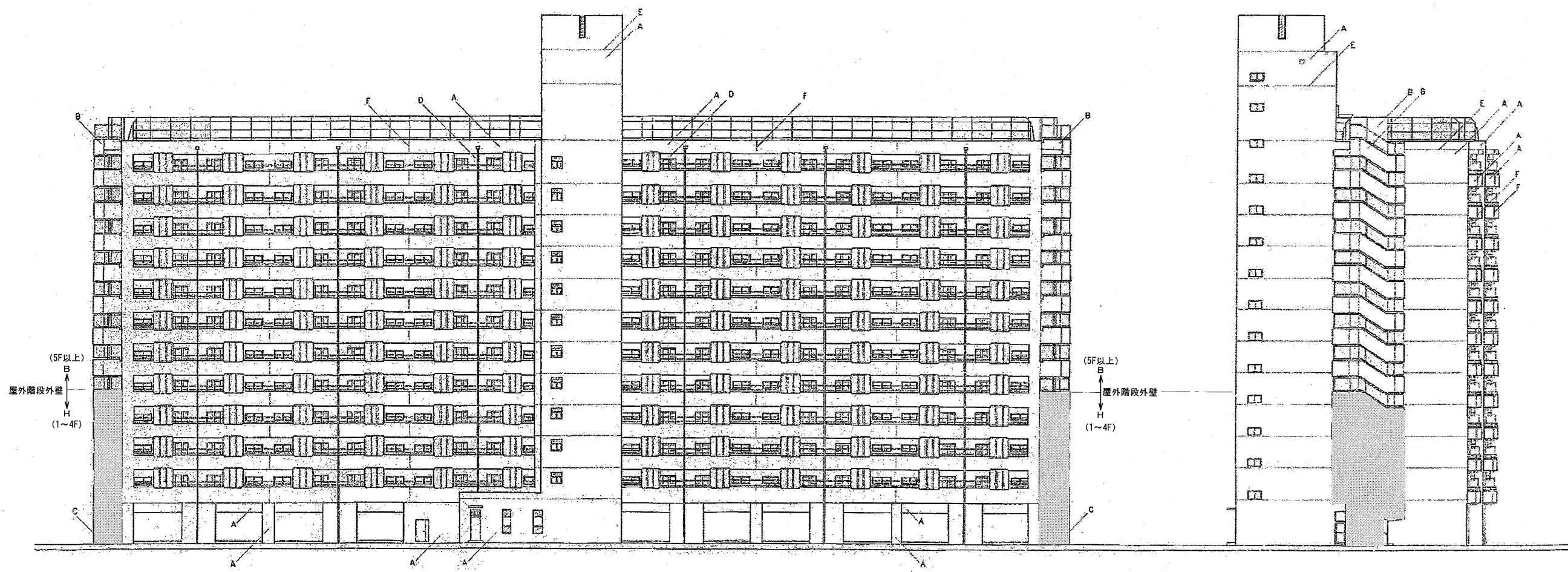
東側立面図 S=1/400

仕上表	
A	磁器質47角モザイクタイル貼
B	モルタルコテ押え ※吹付タイル
C	コンクリート打放しの上 ※アクリルリシン吹付
D	モルタルコテ押えVP
E	伸縮目地切: ポリウレタンシーリング 20×15
F	壁目地: ポリウレタンシーリング 15×10
G	避雷針
H	ポリマーセメントペースト 珪酸質系覆層仕上材吹付

■特記事項
※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上げ表による

■アスベスト含有建材凡例			
◀◀◀	: レベル3 (仕上塗材及び下地調整材)	◻	: レベル3 (成形板)
◀◀◀	: レベル3 (下地調整材)	★◻	: レベル3 (成形板) みなし
★◀◀◀	: レベル3 (下地調整材) みなし	※: 分析の結果非含有	

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	立面図1		
A3縮尺	1／400	A1縮尺	1／200
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A－23	
図寸法			



北側立面図 S=1/400

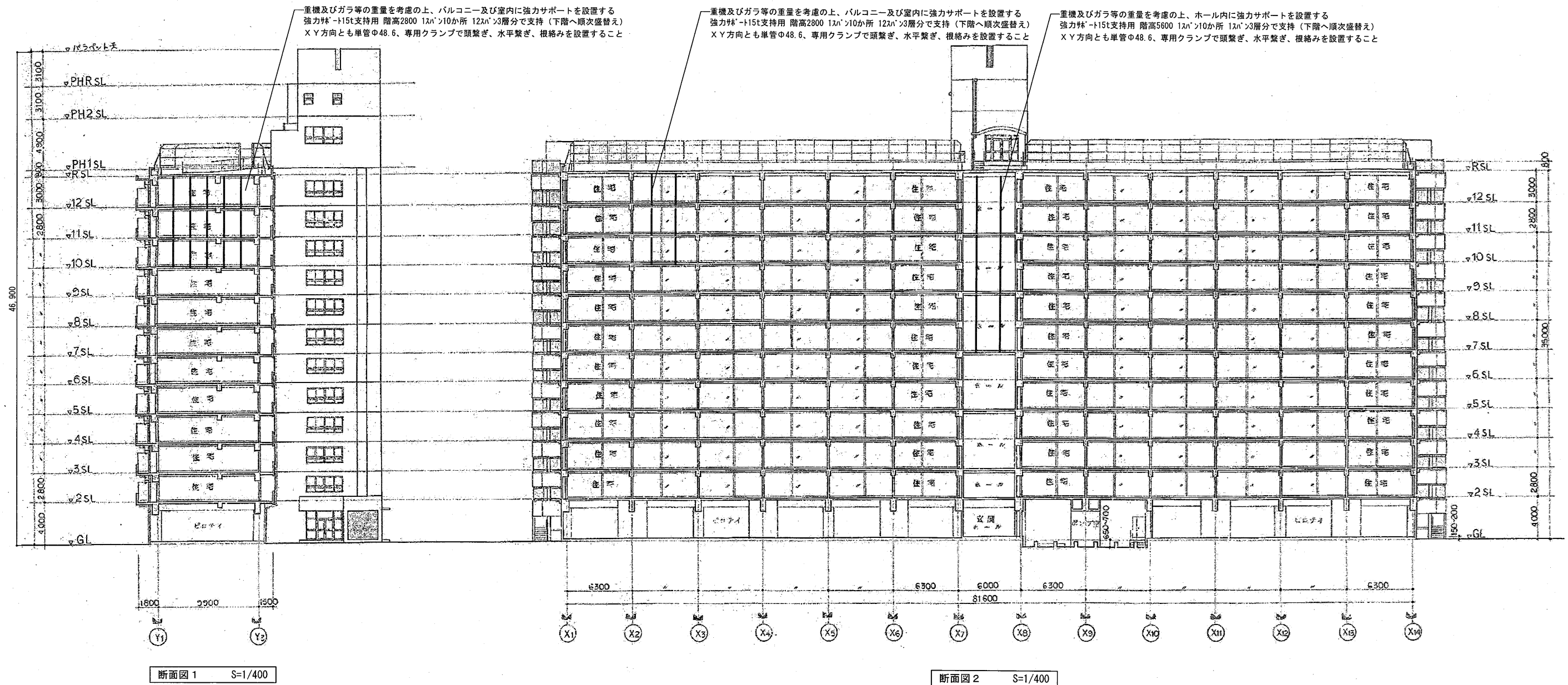
西側立面図 S=1/400

仕上表	
A	磁器質47角モザイクタイル貼
B	モルタルコテ押え ※吹付タイル
C	コンクリート打放しの上 ※アクリルシン吹付
D	モルタルコテ押えVP
E	伸縮目地切: ポリウレタンシーリング 20 x 15
F	壁目地: ポリウレタンシーリング 15 x 10
G	避雷針
H	ポリマーセメントペースト ケイ酸質系複層仕上材吹付

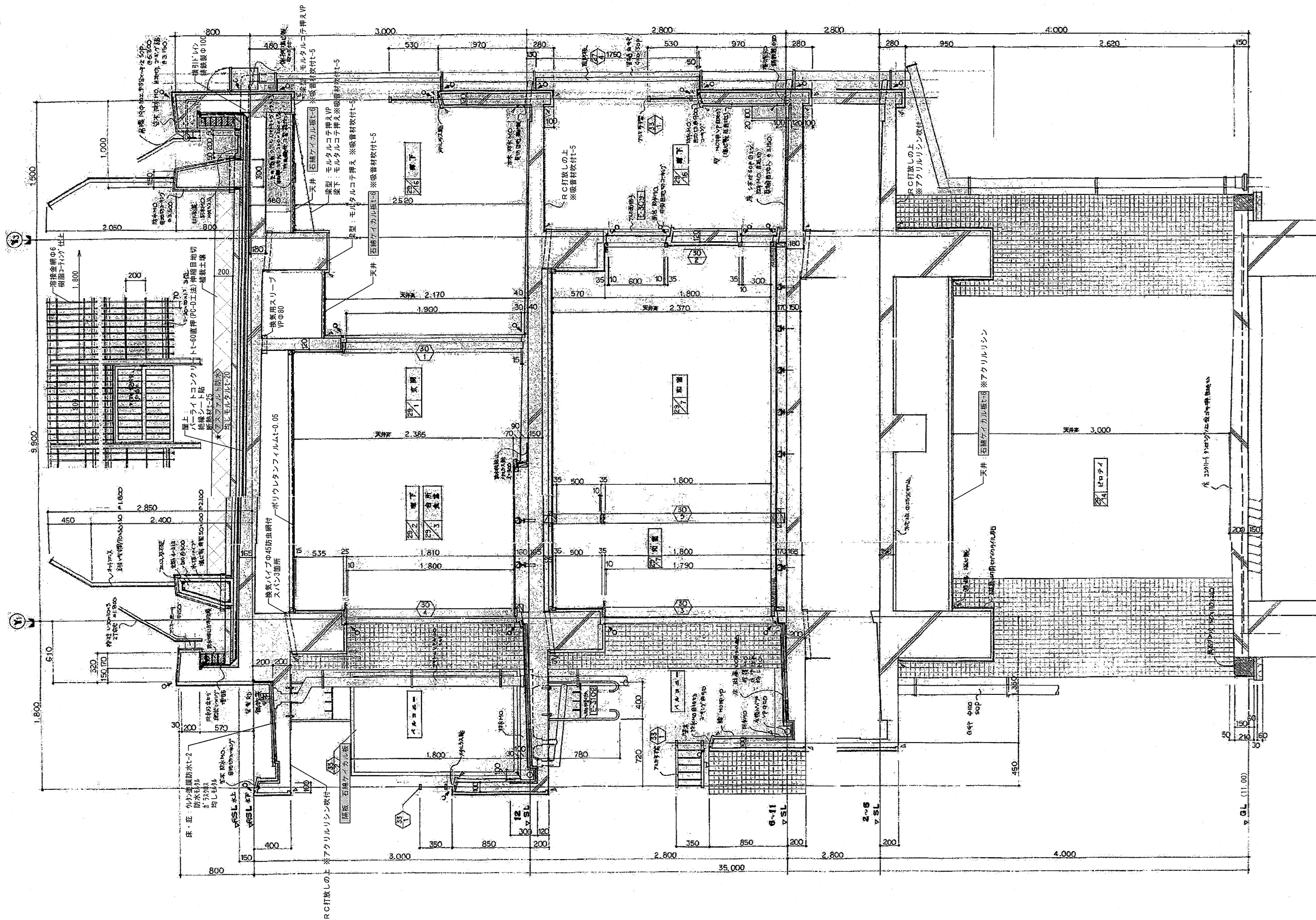
■特記事項
※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上表による

■アスベスト含有建材凡例			
	: レベル3 (仕上塗材及び下地調整材)		: レベル3 (成形板)
	: レベル3 (下地調整材)	★	: レベル3 (成形板) みなし
★	: レベル3 (下地調整材) みなし	※: 分析の結果非含有	

工事名称	塩穴団地 2 棟解体ほか工事		
図面名称	立面図 2		
A3 縮尺	1 / 4 0 0	A 1 縮尺	1 / 2 0 0
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A - 2 4
縮尺図 0 25 50 75			



工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	断面図		
A3縮尺	1／400	A1縮尺	1／200
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A－25	
横寸図 0 25 50 75			



■特記事項

※仕上内容及び石綿含有の有無は仕上表による

■アスベスト含有建材凡例

レベル3 (仕上塗材及び下地調整材)

レベル3 (下地調整材)

レベル3 (下地調整材) みなし

レベル3 (成形板)

レベル3 (成形板) みなし

※: 分析の結果非含有

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	矩計図		
A3縮尺	1／40	A1縮尺	1／20
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A－26	

横方向

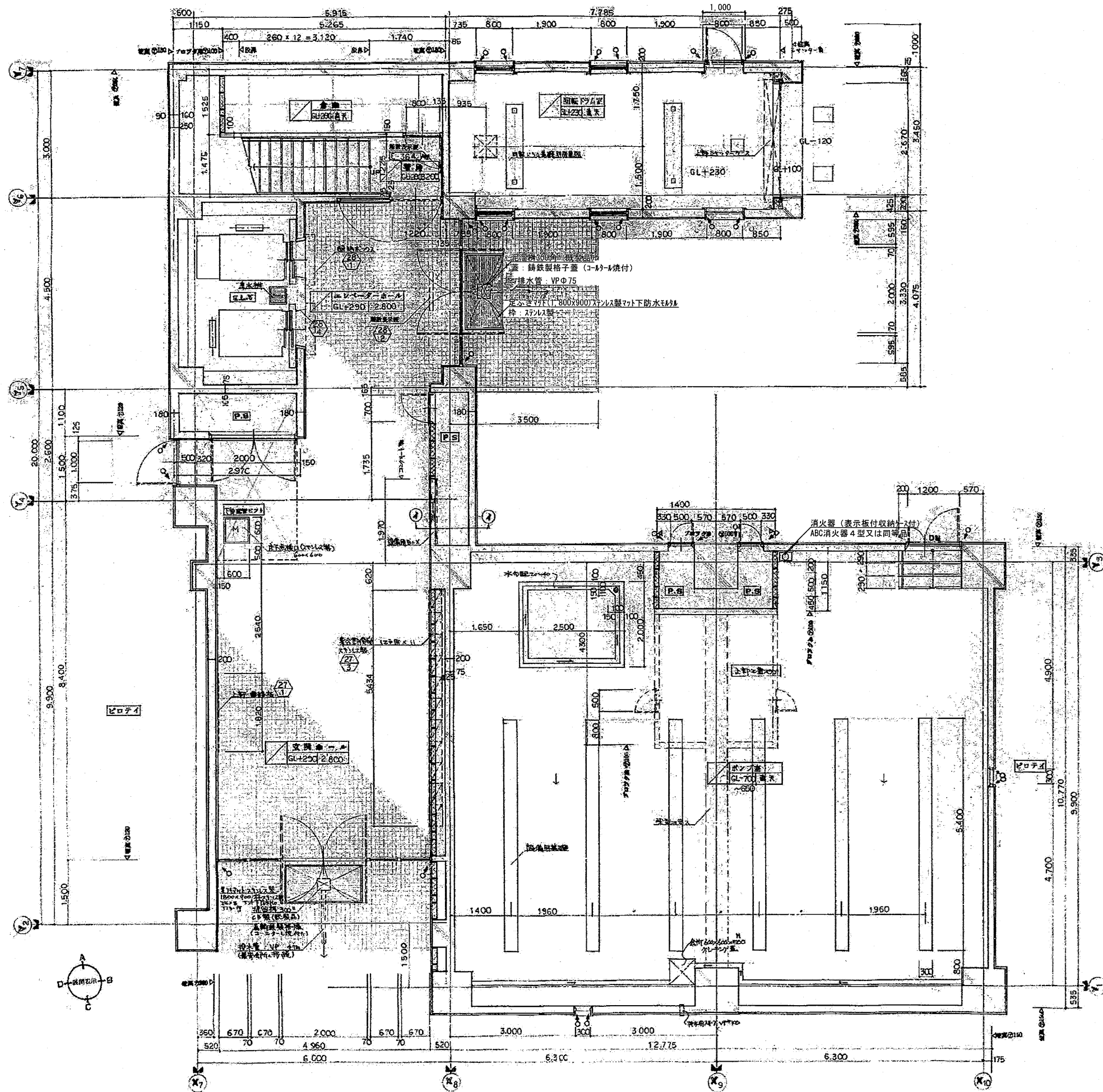
0

25

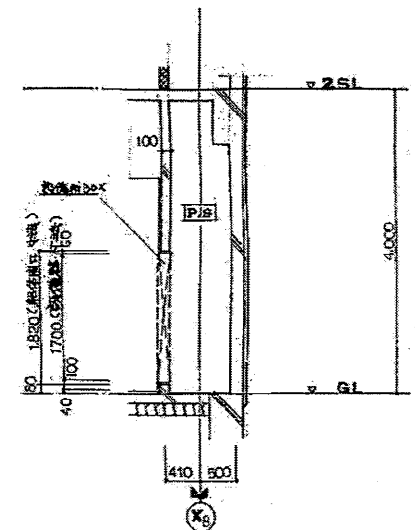
50

75

矩計図 S=1/40

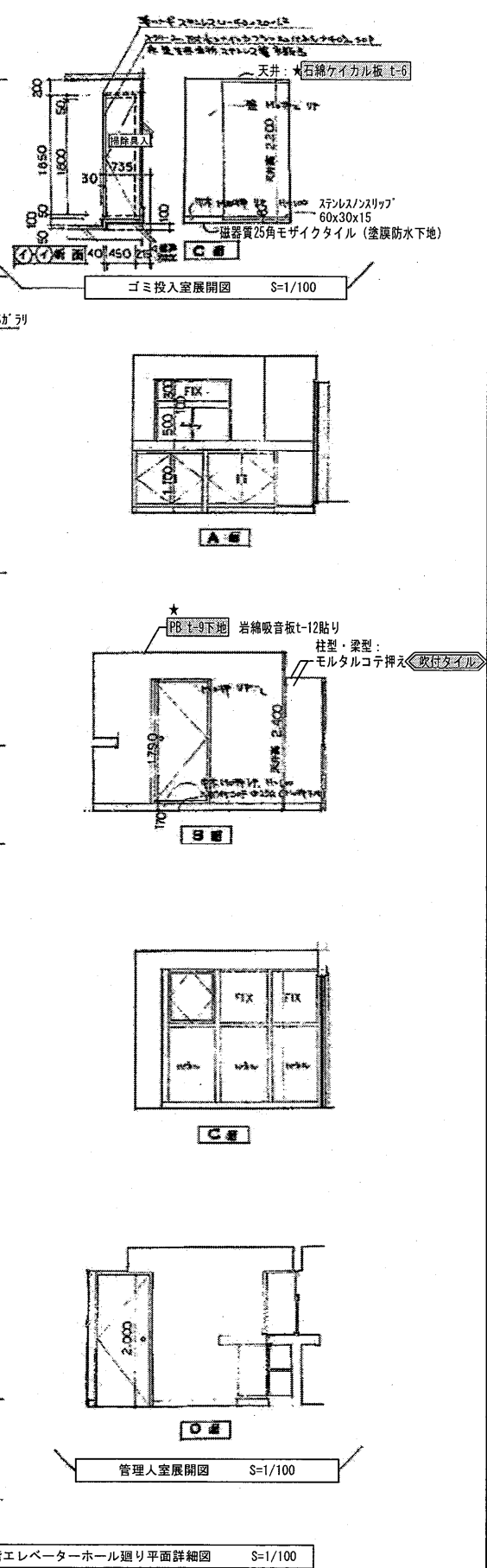
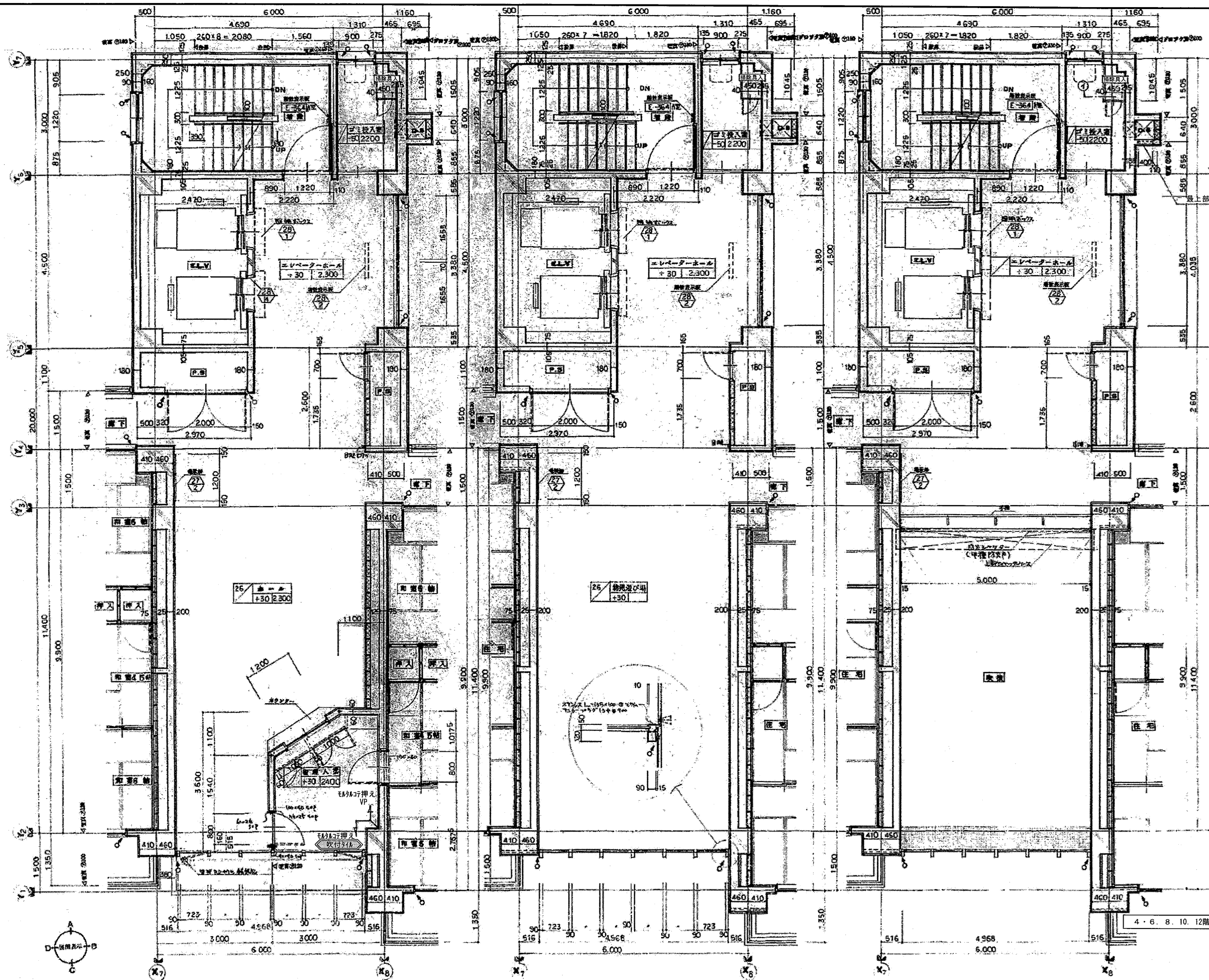


1階エレベーターホール廻り平面詳細図 S=1/100



①-① 部分断面詳細図 S=1/100

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	エレベーターホール廻り平面詳細図 1		
A3縮尺	1/100	A1縮尺	1/50
発行 建築都市局 建築部	図面番号		A-27
図1例 0 25 50 75			

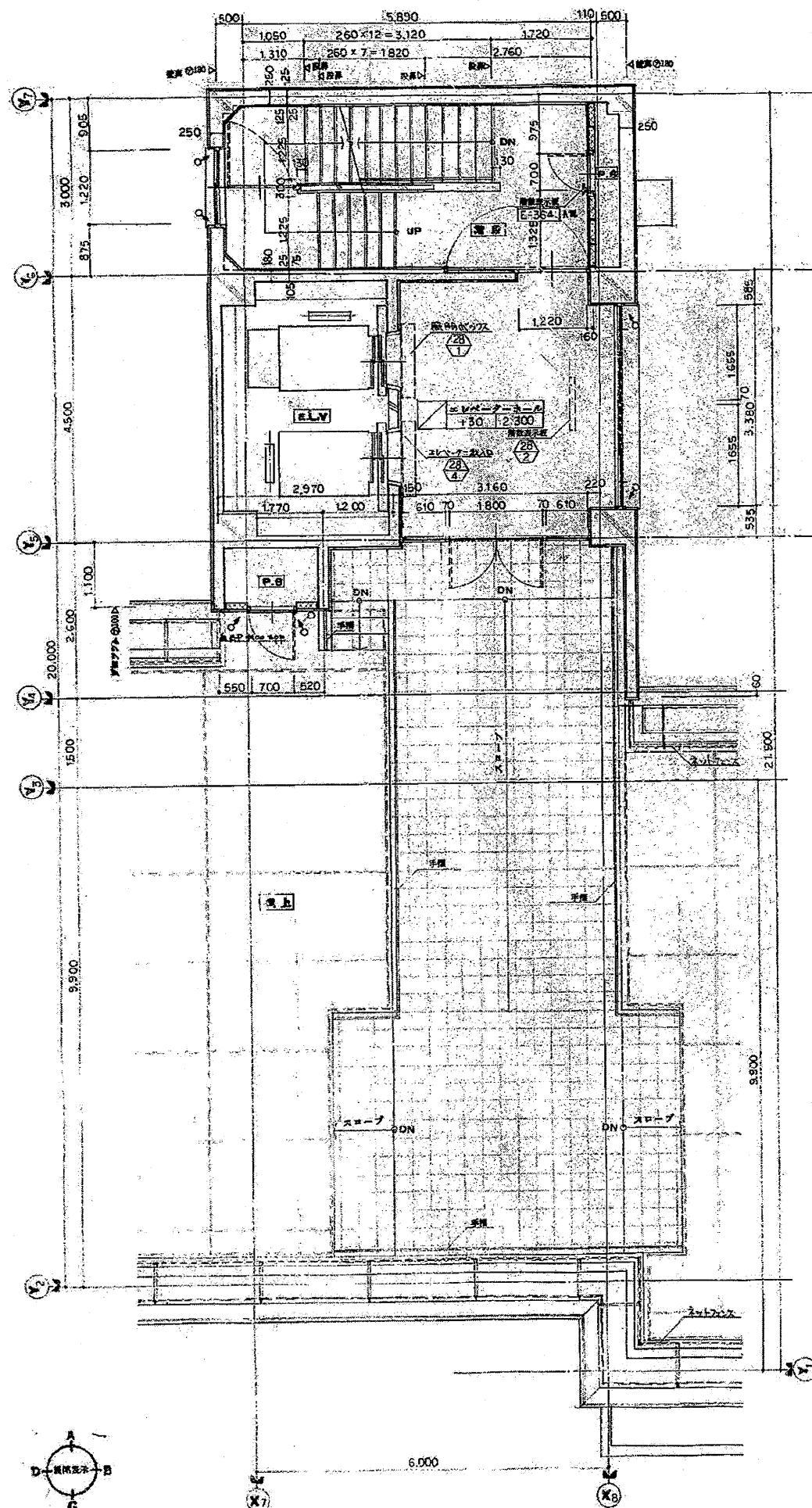


■特記事項
※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上げ表による

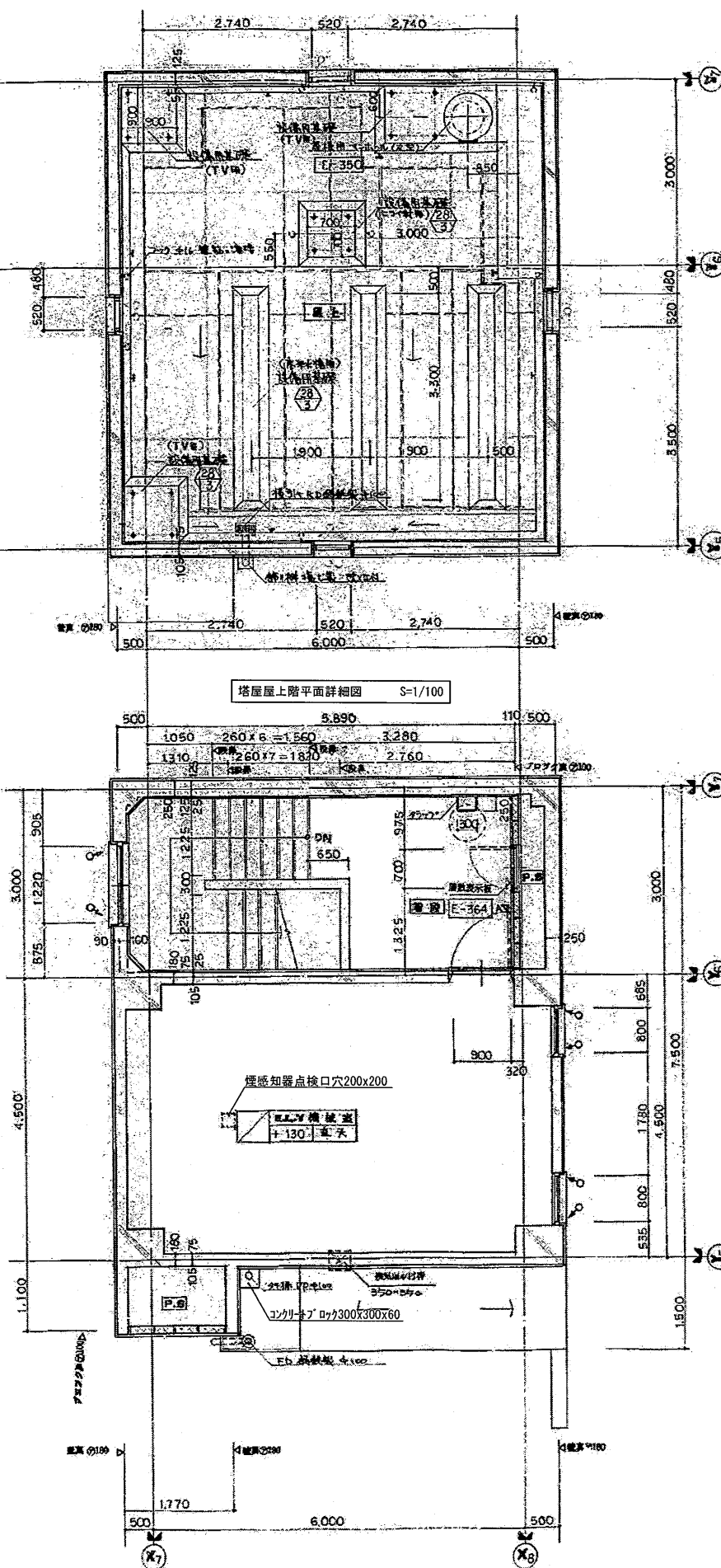
工事名称		塩穴地2棟解体ほか工事	
図面名称		エレベーターホール廻り平面詳細図2	
A3縮尺	1／100	A1縮尺	1／50
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A－28
図面スケール			
0 25 50 75 100			

■アスベスト含有建材凡例

- レベル3 (仕上塗り材) : レベル3 (成形成板)
- レベル3 (下地調整材) : レベル3 (成形成板) なし
- レベル3 (下地調整材) なし : 分析の結果非含有

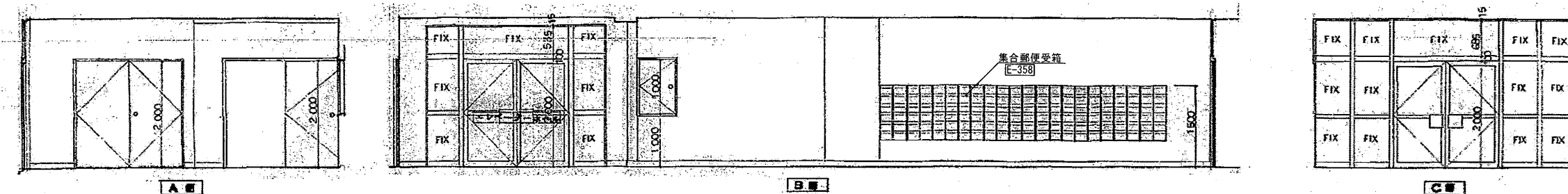


塔屋1階平面詳細図 S=1/100

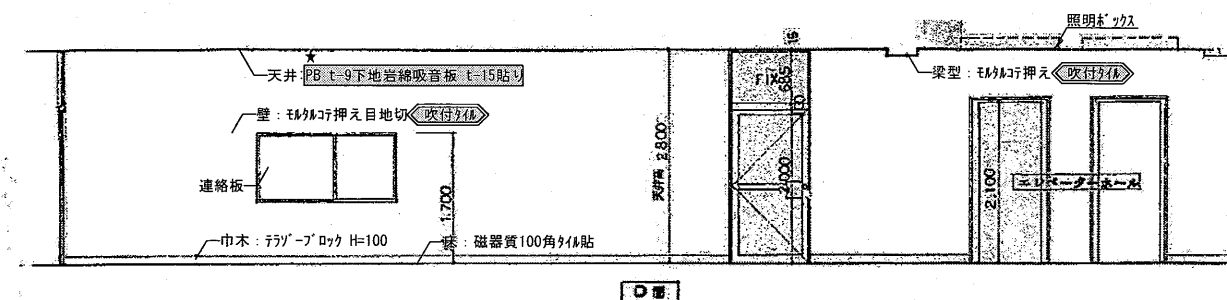


塔屋2階平面詳細図 S=1/100

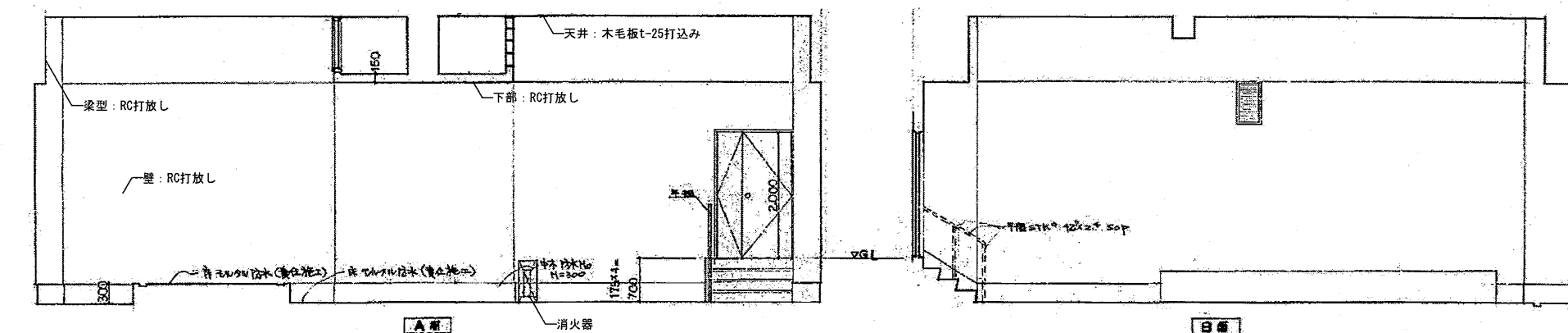
工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	エレベーターホール廻り平面詳細図 3		
A3縮尺	1／100	A1縮尺	1／50
堺市 建築都市局 建築部	図面番号		A－29
図寸法 0 25 50 75			



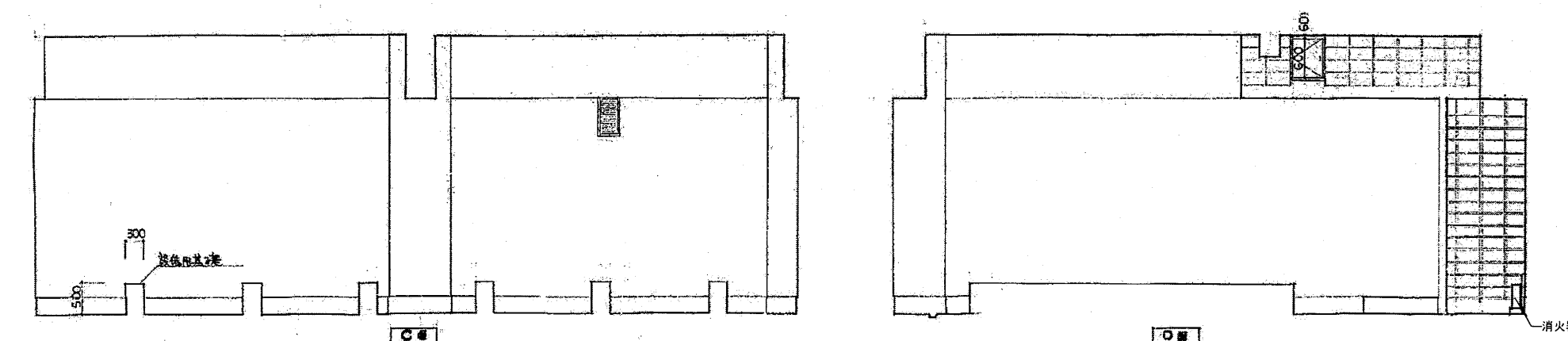
玄関ホール展開図 S=1/100



D-D



ポンプ室展開図 S=1/100



D-D

■特記事項

※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上げ表による

■アスベスト含有建材凡例

レベル3 (仕上塗材及び下地調整材)

レベル3 (下地調整材)

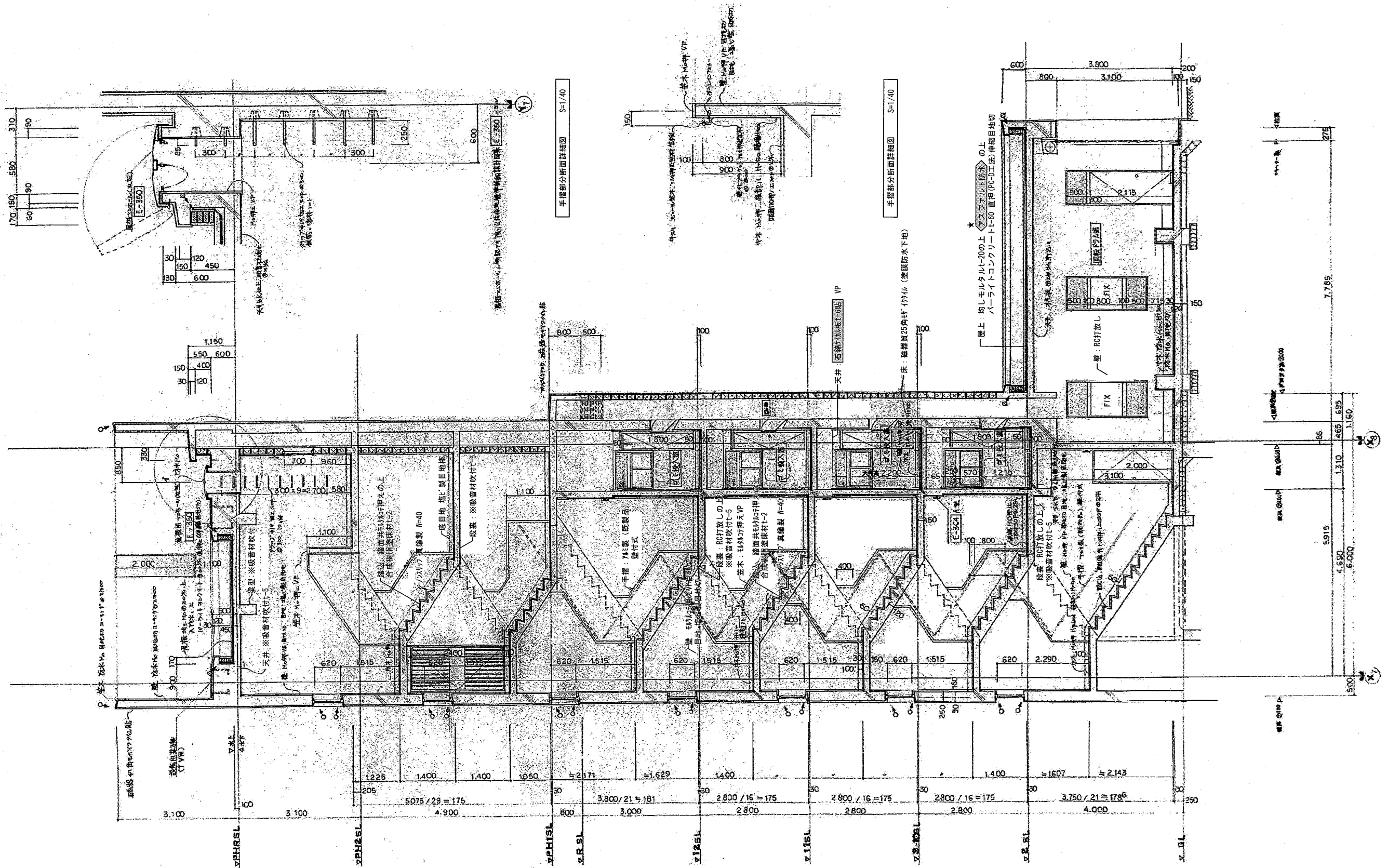
★レベル3 (下地調整材) みなし

レベル3 (成形板)

★レベル3 (成形板) みなし

※: 分析の結果非含有

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	エレベーターホール廻り展開図		
A3縮尺	1／100	A1縮尺	1／50
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A－30	
図 1-20			



手摺部分断面詳細図 S=1/40

手摺部分断面詳細図 S=1/40

階段断面詳細図 S=1/100

■特記事項
※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上表による

- アスベスト含有建材凡例
- レベル3 (仕上塗材及び下地調整材)
 - レベル3 (成形板)
 - レベル3 (下地調整材)
 - レベル3 (成形板) みなし
 - レベル3 (下地調整材) みなし
- ※: 分析の結果非含有

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	屋内階段断面詳細図		
A3縮尺	1／100・40	A1縮尺	1／50・20
発行 建築都市局 建築部	図面番号		A－31

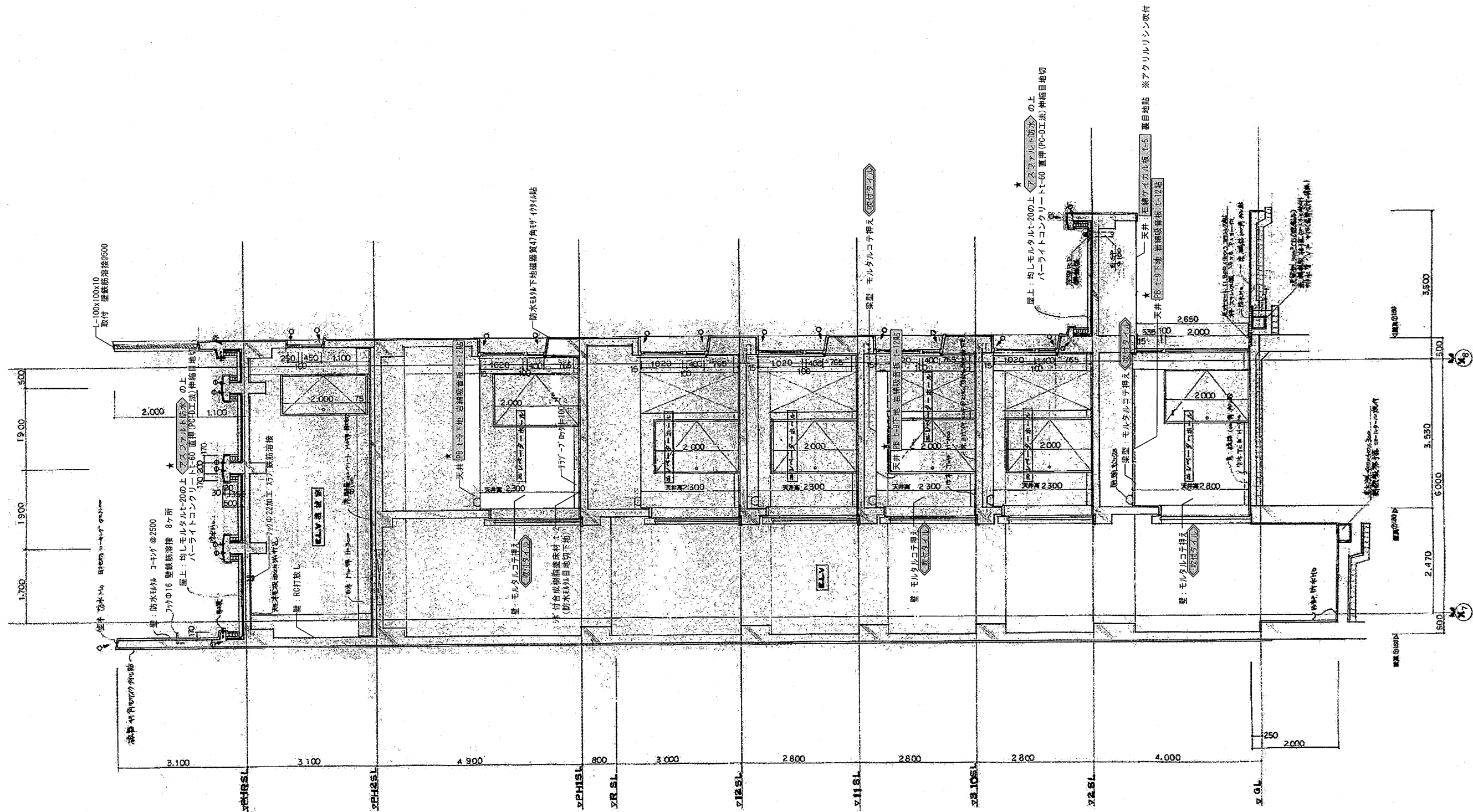
縮尺図

0

25

50

75



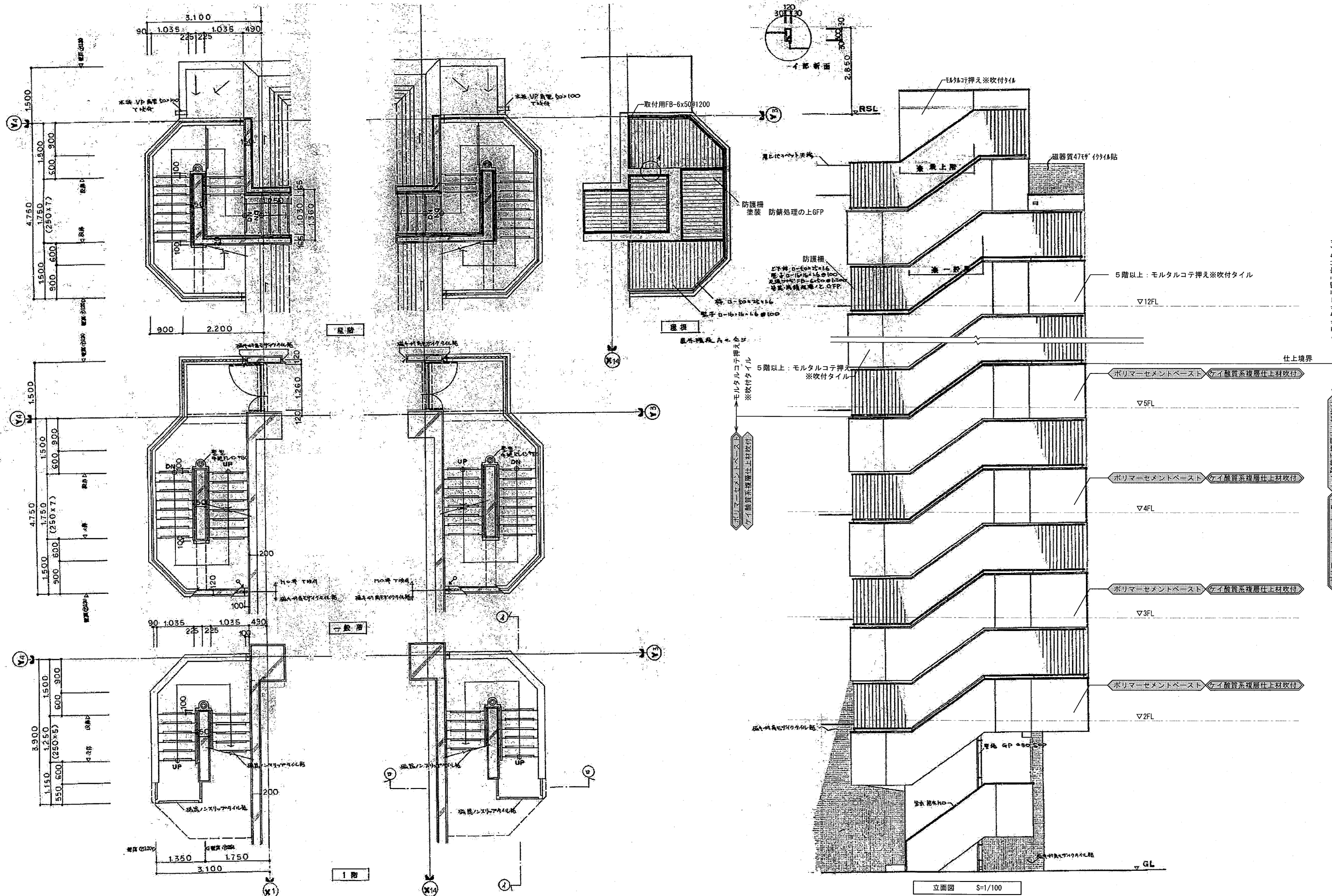
■特記事項

※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上げ表による

■アスベスト含有建材凡例

- レベル3 (仕上塗材及び下地調整材) : レベル3 (成形板)
レベル3 (下地調整材) : レベル3 (成形板) みなし
レベル3 (下地調整材) みなし ※ : 分析の結果非含有

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	エレベーターホール断面詳細図		
A3縮尺	1／100	A1縮尺	1／50
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A－32	
0 25 50 75			



屋外階段A平面詳細図 S=1/100

屋外階段B平面詳細図 S=1/100

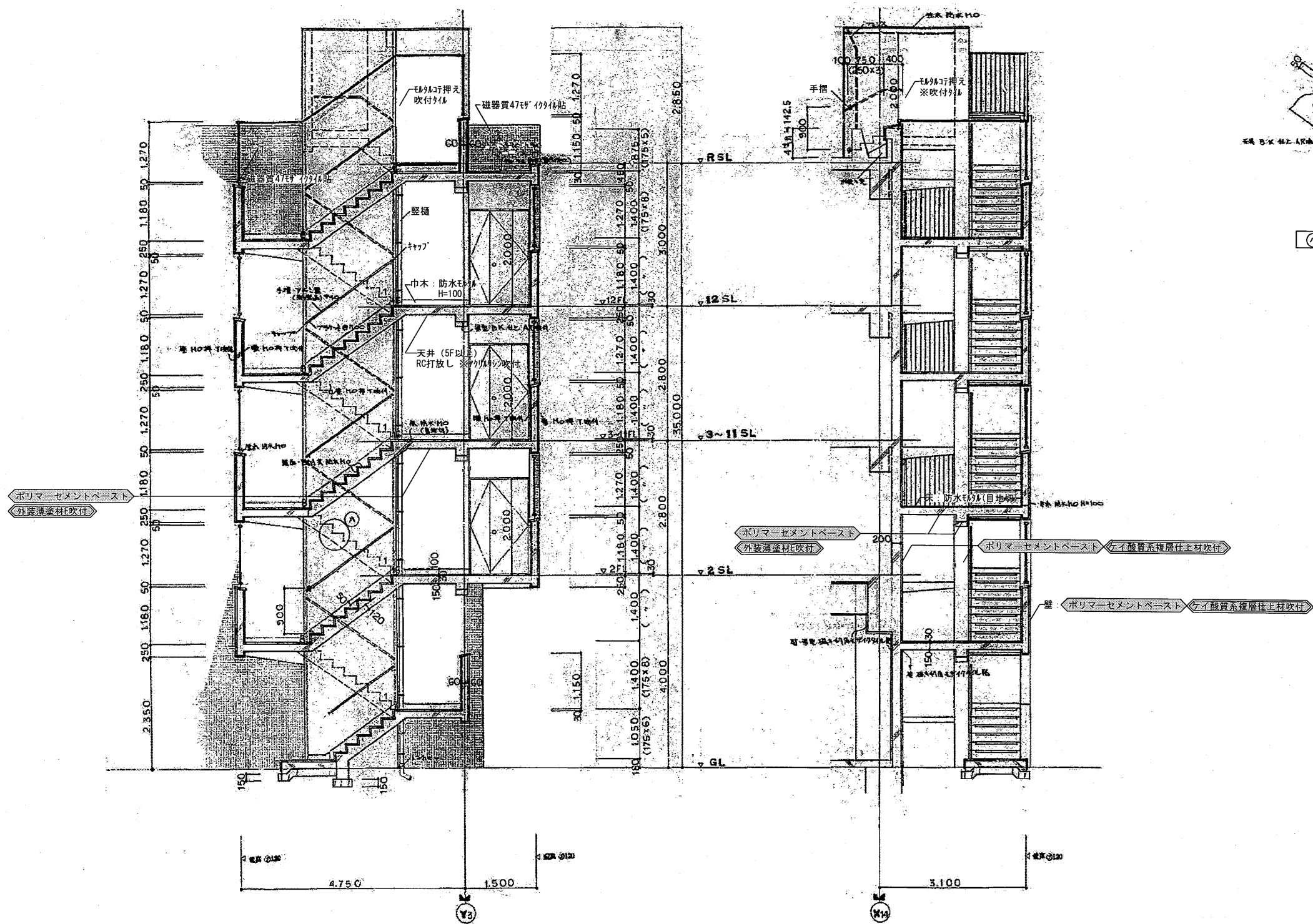
■特記事項

※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上表による

■アスベスト含有建材凡例

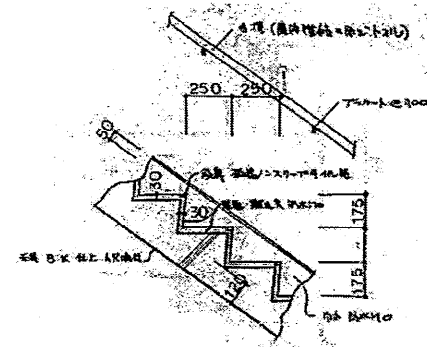
- レベル3 (仕上塗材及び下地調整材)
- レベル3 (下地調整材)
- レベル3 (下地調整材) なし
- レベル3 (成形板)
- レベル3 (成形板) なし
- ※: 分析の結果非含有

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	屋外階段平面詳細図・立面図		
A3縮尺	1／100	A1縮尺	1／50
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A－33	
図寸法 0 25 50 75			

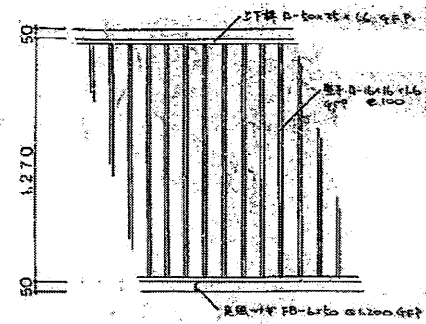


① - ① 部分断面詳細図 S=1/100

② - ② 部分断面詳細図 S=1/100



(A) 部分詳細図 S=1/40



(B) 部分詳細図 S=1/40

■特記事項

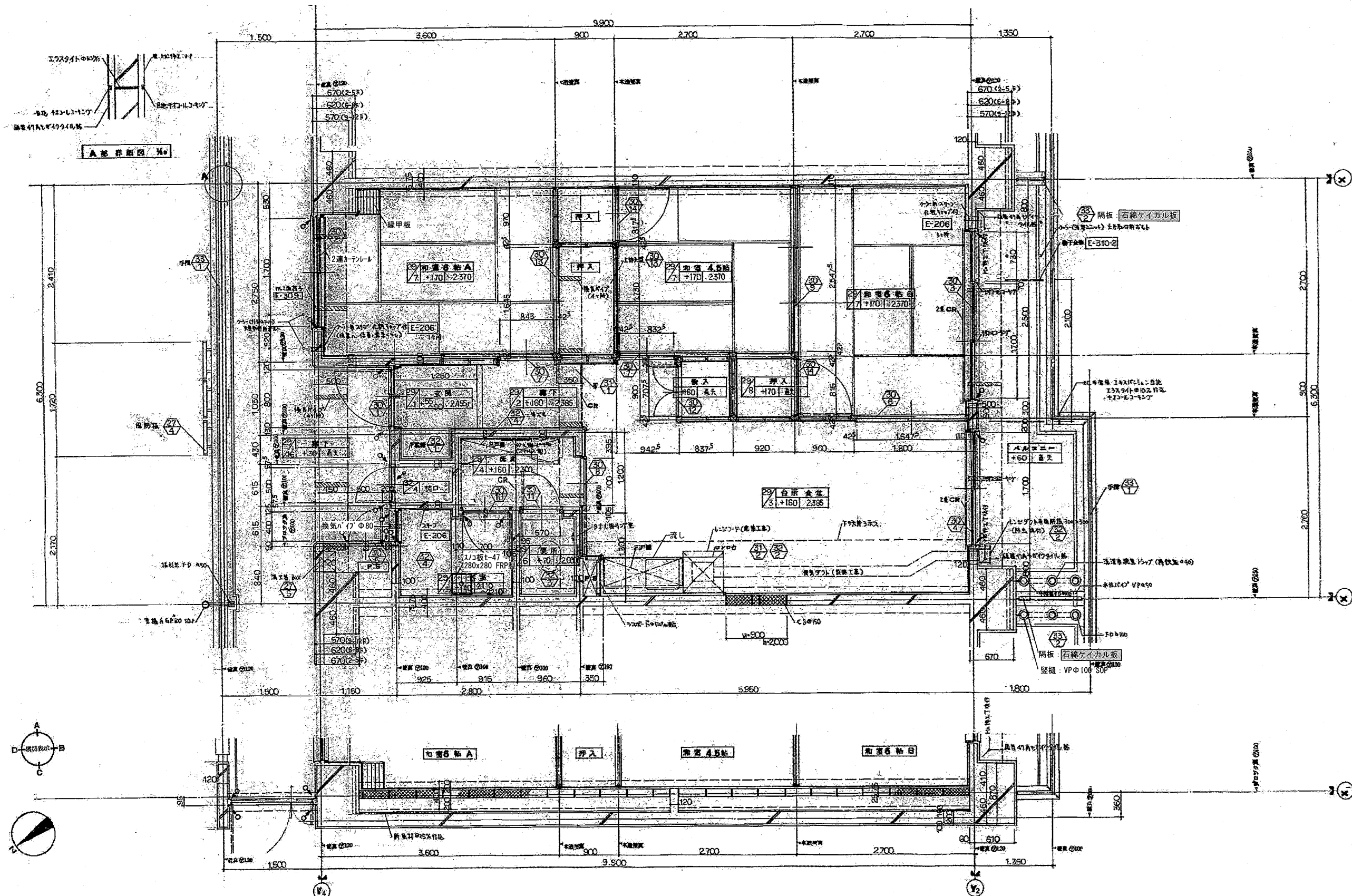
※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上げ表による

■アスベスト含有建材凡例

- ① : レベル3 (仕上塗材及び下地調整材)
- ② : レベル3 (下地調整材)
- ★ : レベル3 (下地調整材) なし
- ③ : レベル3 (成形板)
- ★ : レベル3 (成形板) なし

※ : 分析の結果非含有

工事名称		塩穴団地2棟解体ほか工事	
図面名称		屋外階段断面詳細図	
A3縮尺	1／100・40	A1縮尺	1／50・20
※市 建築都市局 建築部		図面番号	A－34
備考欄			



住宅(3DK)平面詳細図 S-1/100

■特記事項

※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上げ表による

■アスベスト含有建材凡例

◻ : レベル3 (仕上塗材及び下地調整材)

◻ : レベル3 (下地調整材)

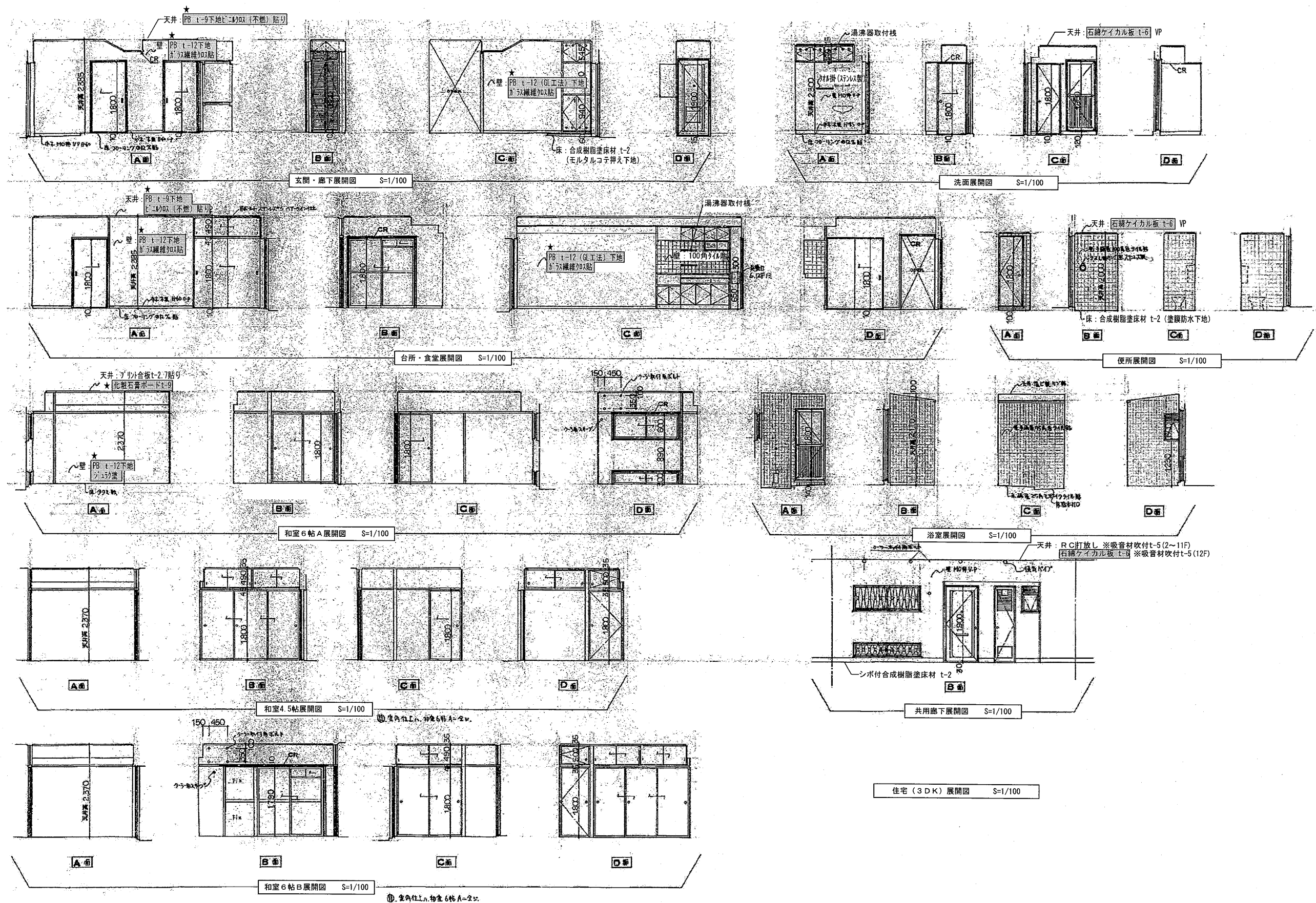
★◻ : レベル3 (下地調整材) みなし

◻ : レベル3 (成形板)

★◻ : レベル3 (成形板) みなし

※ : 分析の結果非含有

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事			
図面名称	住宅平面詳細図			
A3縮尺	1/60	A1縮尺	1/30	
製市	建築都市局	製業部	図面番号	A-35



■特記事項

※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上げ表による

■アスベスト含有建材凡例

レベル3 (仕上塗材及び下地調整材)

レベル3 (下地調整材)

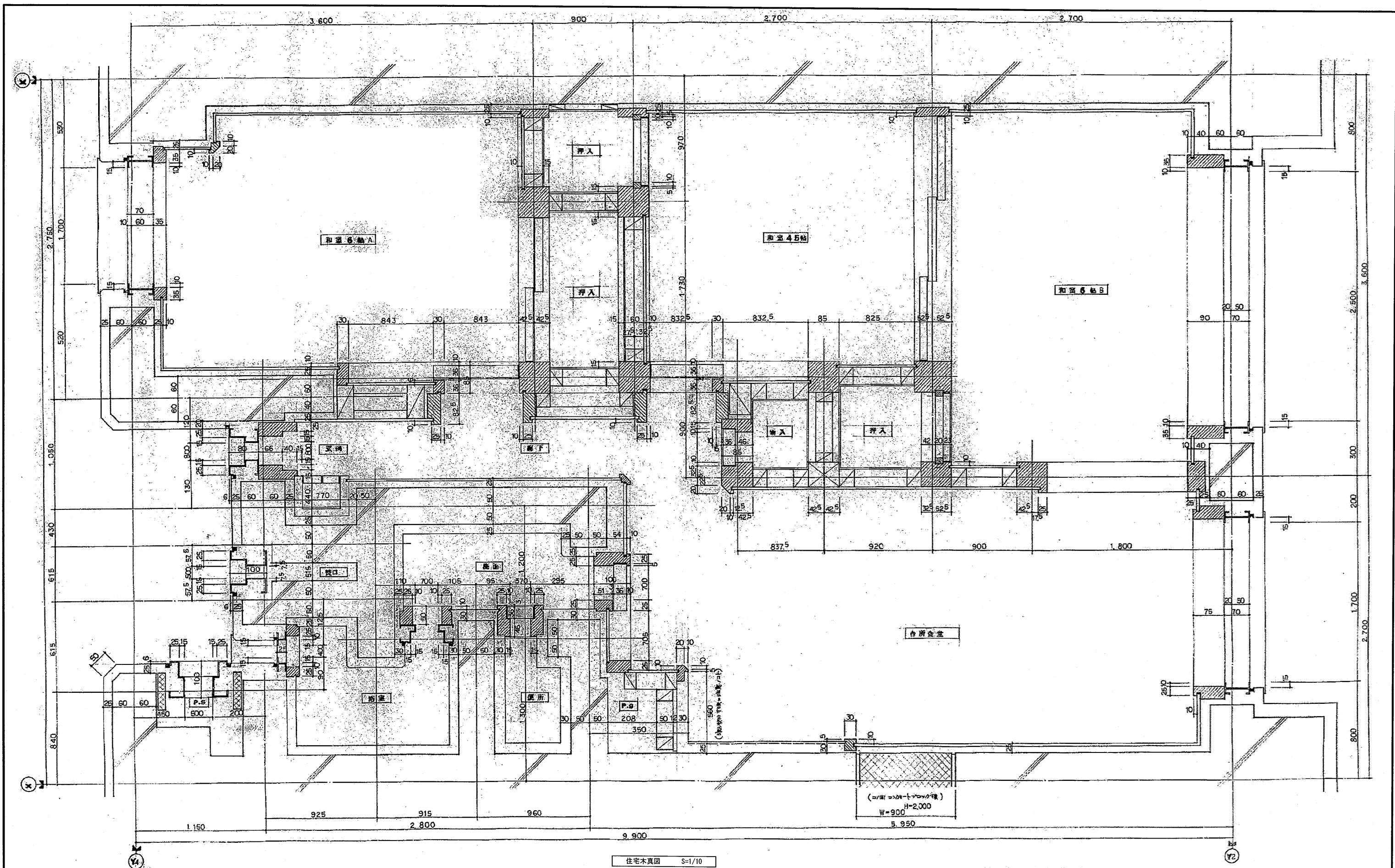
レベル3 (下地調整材) みなし

レベル3 (成形板)

レベル3 (成形板) みなし

※: 分析の結果非含有

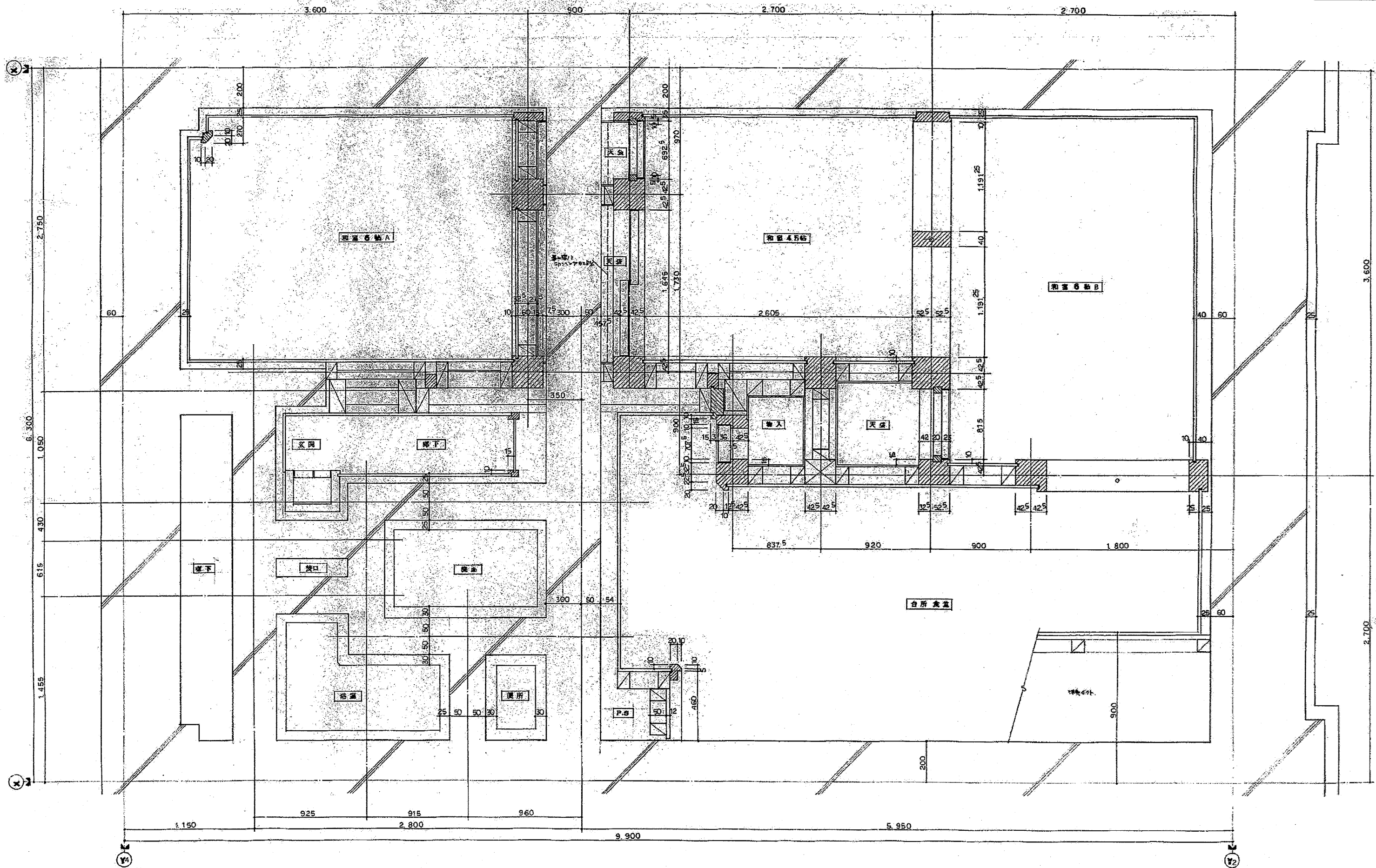
工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	住宅展開図		
A3縮尺	1/100	A1縮尺	1/50
製市	建築都市局	製業部	図面番号
			A-36



住宅木真図 S=1/10

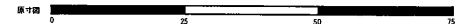
注記
木材/数量/単位/5桁以内/小数点=0.1/10

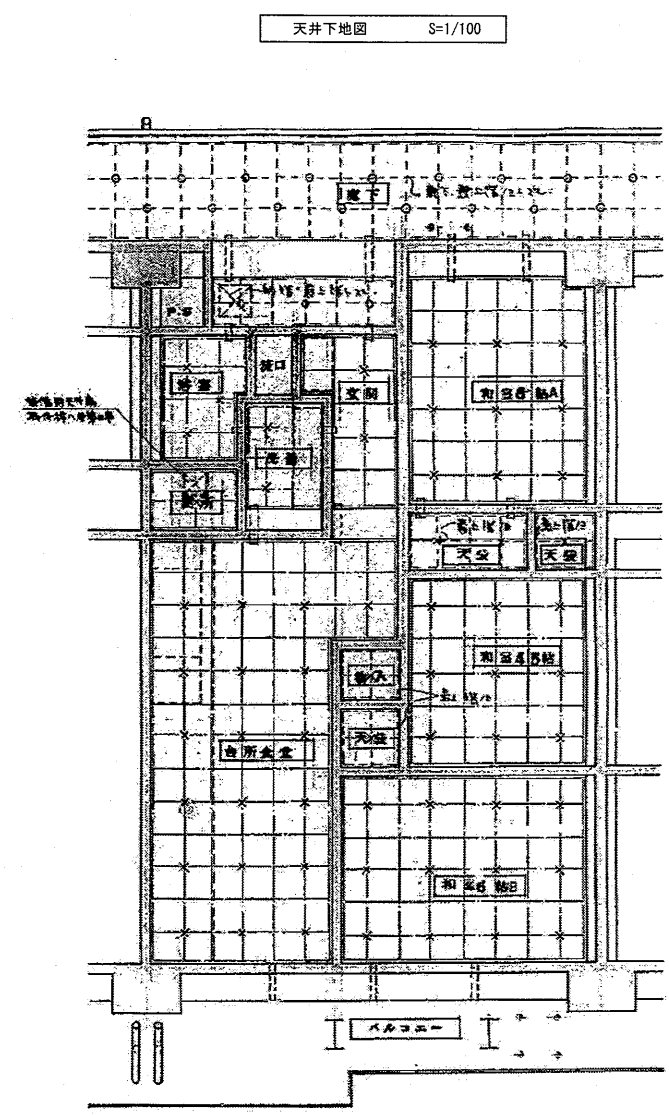
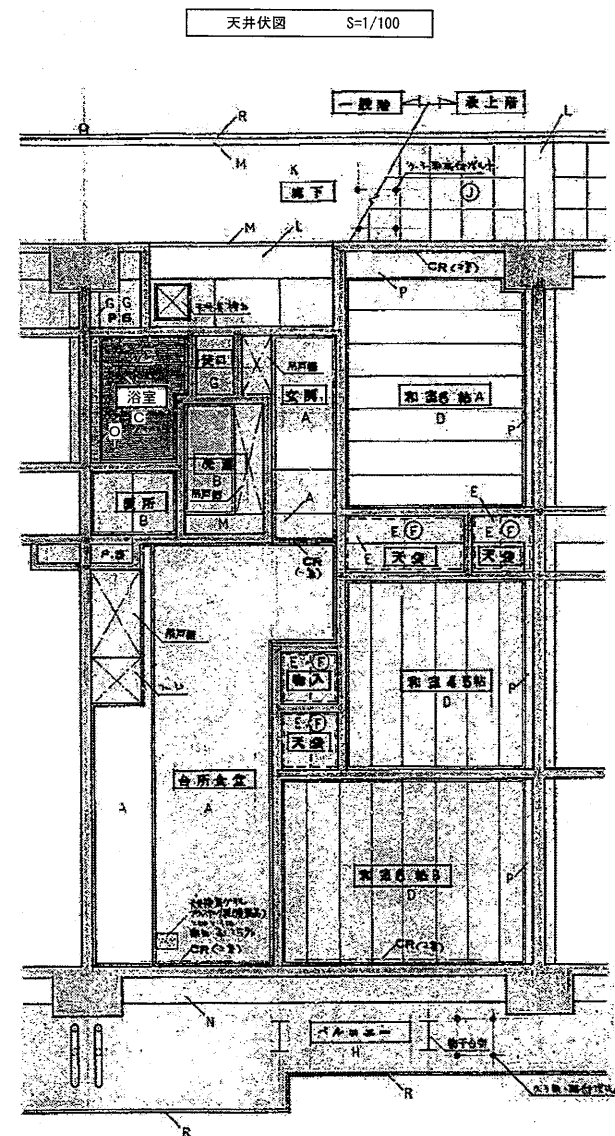
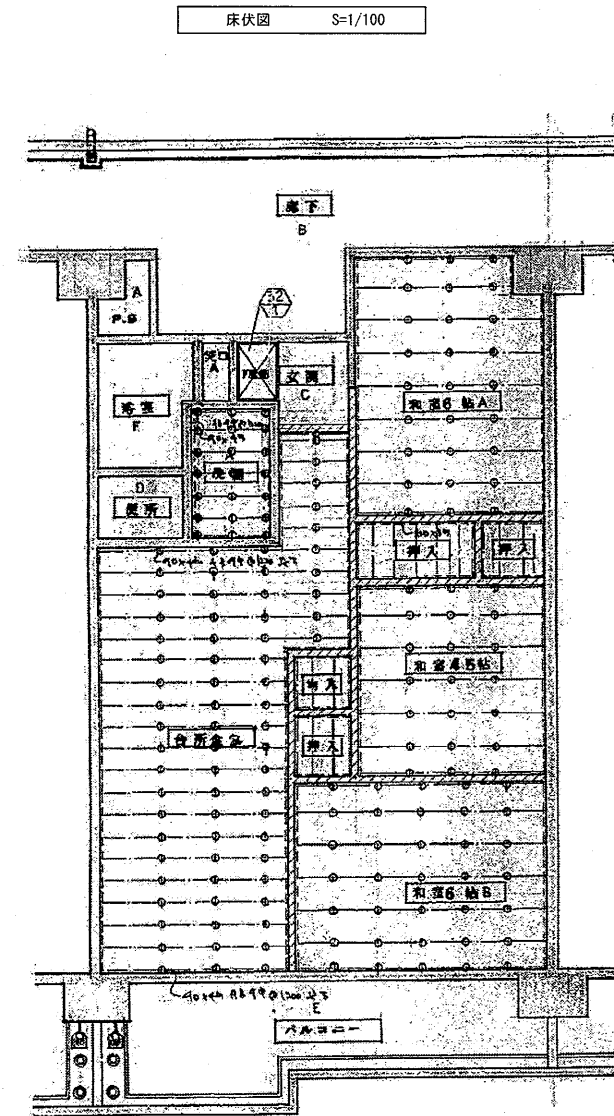
工事名称	堀穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	住宅木真図 1		
A3縮尺	1／10	A1縮尺	1／5
堺市 建築都市局 建築部	図面番号		A－37
図寸法	0 25 50 75 100		



住宅木真図 (梁部) S=1/10

工事名称	塩穴団地2棟解体ほか工事		
図面名称	住宅木真図2		
A3縮尺	1/10	A1縮尺	1/5
発行 建築都市局 建築部	図面番号	A-38	





記号	仕上
——	土台 (桧) 90×45
——	根太 50×38 @300 (台所・食堂・洗面・押入)
——	根太 50×38 @450以下 (和室)
——	根太受金物 90×45 アンカーボルトφ9@1200以下
—○—	ゴム付根太受金物 @700以下
-----	根太受金物 (押入) 100×35 φ9@1200以下
A	防水モルタル
B	防水モルタル下地シボ付合成樹脂塗床材 t-2
C	モルタル下地シボ付合成樹脂塗床材 t-2
D	塗膜防水 シボ付合成樹脂塗床材 t-2
E	塗膜防水 磁器質100角タイル貼り
F	★ <u>アスファルト防水</u> 磁器質25角モザイクタイル貼り

記号	仕上	記号	仕上
A	★ <u>PB t-9下地</u> (不燃) 貼り	N	モルタルコテ押え ※吹付タイル
B	<u>石綿ケイカル板 t-6</u>	O	半磁器質75角色タイル貼り
C	塩ビ製リブ貼り	P	★ <u>PB t-12 (GL工法) 下地</u> ジュラク塗
D	プリント合板t-2.7貼り、11・12F ★ <u>化粧石膏ボードt-9</u>	R	磁器質47角色タイル貼り
E	一般階: R C打放し		
(F)	最上階: ラワン合板t-2.7貼り		
G	R C打放し		
H	R C打放しの上 ※アクリルリシン吹付		
I	<u>石綿ケイカル板 t-6</u> 吸音材吹付t-5		
(J)	<u>石綿ケイカル板 t-6</u> 裏目地貼 ※吸音材吹付t-5	⊗	天井点検口 (アルミ製) 450×450
K	R C打放し ※吸音材吹付t-5	——	カーテンレール (アルミ製)
L	モルタルコテ押え ※吸音材吹付t-5	——	軽量鉄骨下地
M	モルタルコテ押え ※吸音材吹付t-5 VP	木製天井下地	磁器質47角色タイル貼り

記号	仕上
——	野縁45×45@450内外
—○—	吊ボルト @700内外 インサート (軽量鉄骨下地)
—×—	吊ボルト @700内外 インサート (軽量鉄骨下地)
〰〰〰	換気パイプ (廊下・バルコニー側は全て防虫網付)
	押入のみガラリ敷キャップ付
-----	軽量鉄骨

■特記事項

※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上げ表による

■アスベスト含有建材凡例

—— : レベル3 (仕上塗材及び下地調整材)

—— : レベル3 (下地調整材)

★ —— : レベル3 (下地調整材) みなし

—— : レベル3 (成形板)

★ —— : レベル3 (成形板) みなし

※: 分析の結果非含有

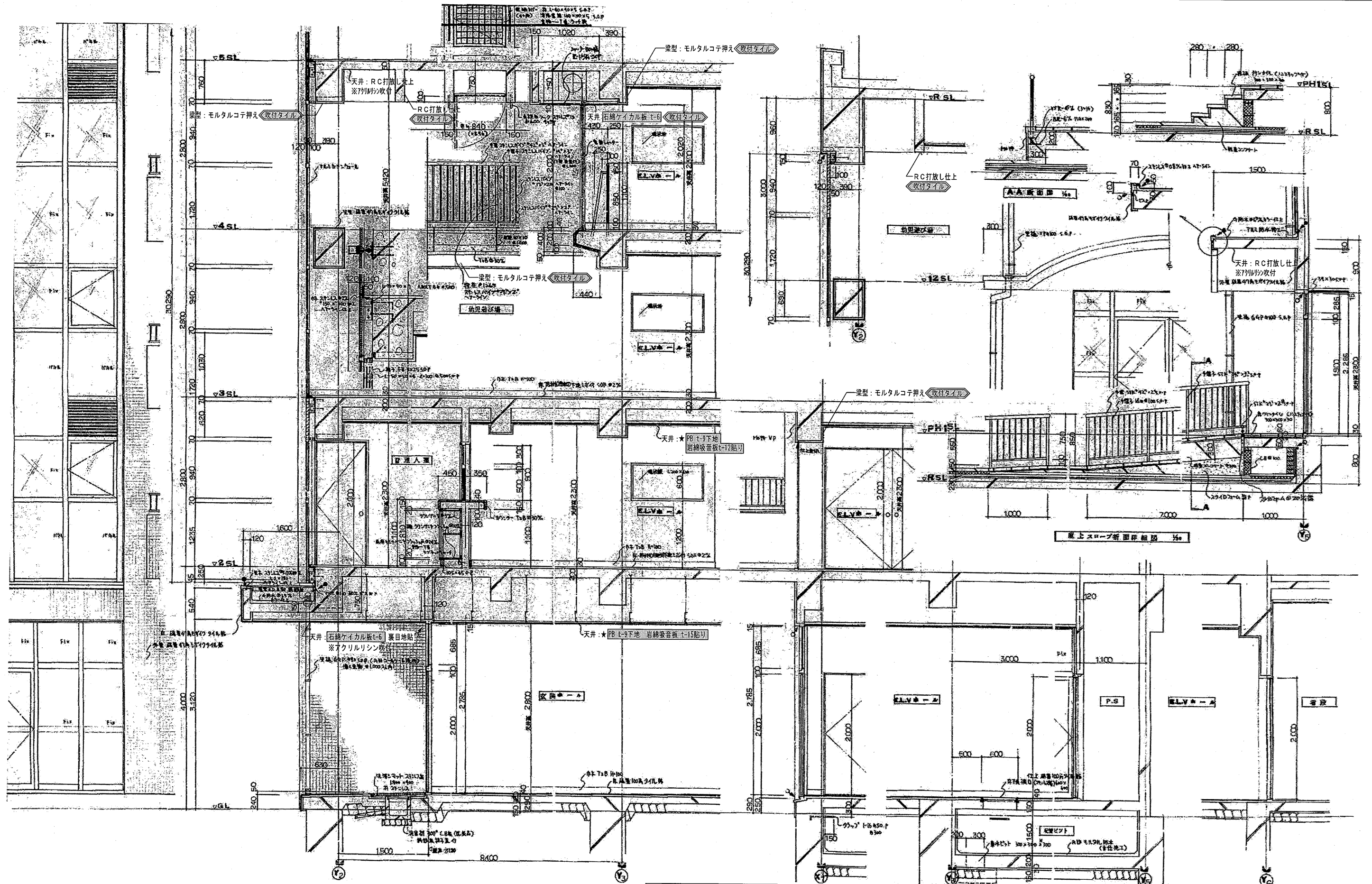
工事名称 塩穴団地2棟解体ほか工事

図面名称 住宅床・天井・天井下地図

A3縮尺 1/100 A1縮尺 1/50

堺市 建築都市局 建築部 図面番号 A-39

図面番号 A-39



玄関ホール断面詳細図 S=1/60

■特記事項

※仕上げ内容及び石綿含有の有無は仕上表による

■アスベスト含有建材凡例

◀ : レベル3 (仕上塗材及び下地調整材)

◀ : レベル3 (下地調整材)

★◀ : レベル3 (下地調整材) みなし

◻ : レベル3 (成形板)

★◻ : レベル3 (成形板) みなし

※ : 分析の結果非含有

工事名称 塩穴団地2棟解体ほか工事

図面名称 共用部詳細図 1

A3縮尺 1/60 A1縮尺 1/30

堺市 建築都市局 建築部 図面番号 A-40

0 25 50 75